

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社大仙こまちパワー 代表取締役 古舘 将司
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	秋田県大仙市協和稲沢字台林16-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は秋田県大仙市に本社があり、グループ会社である「株式会社大仙バイオマスエナジー」で発電したFIT電気(バイオマス)を地元公共施設等に売電しております。 2022年9月1日付でグループ会社である(株)横須賀アーバンウッドパワーを存続会社として、(株)大仙こまちパワーを吸収合併するとともに、合併後の新会社の商号を(株)タケエイでんきとすることにいたしました。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社タケエイ エネルギー事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6361-6820
		ファクシミリ番号	050-3204-7336
		電子メールアドレス	takeei-denki@takeei.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社タケエイ エネルギー事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6361-6820
		ファクシミリ番号	050-3204-7336
		電子メールアドレス	takeei-denki@takeei.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社タケエイでんき				
		所在地: 東京都港区芝公園二丁目4番1号 A-10階				
		閲覧可能時間 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.01	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.013	0.017	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.422	0.450	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

バイオマス発電所よりFIT電気を調達し、CO2排出係数の低減に取り組んでおりました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	510	96.99%	42	96.24%
(FIT電気)	508	96.61%	42	96.24%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

電力の90%以上をバイオマス発電所(FIT)から調達するよう計画しておりました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所の所有はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客様に合わせた省エネのご提案等を行ってまいりました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

クールビズの実施をしてまいりました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

メニューの販売がなかったため、メニュー別係数を使つての取組実績はありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	大東ガス株式会社 代表取締役社長 清水 宏之介
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	埼玉県入間郡三芳町大字藤久保字西1081番地1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、小売電気事業者同士でバランスンググループを形成して電力を調達し、埼玉県を中心に、東京都内においても電力小売事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		総務企画部エネルギー企画課
	連絡先	電 話 番 号	049-259-1139
		ファクシミリ番号	049-259-3020
		電子メールアドレス	denki@daitogas.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		総務企画部エネルギー企画課
	連絡先	電 話 番 号	049-259-1139
		ファクシミリ番号	049-259-3020
		電子メールアドレス	denki@daitogas.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 11 月 10 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 本社1階受付前書棚スペース				
		所在地: 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保字西1081-1				
		閲覧可能時間 平日 8:30～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問合せの際は、メール・FAX等により対応します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.37	0.45

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.332	0.454	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.274	0.382	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて排出係数の低い電気事業者からの調達に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて再生可能エネルギーによる発電からの購入に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来よう努めました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社にて火力発電所を有していないため、熱効率向上の措置及び進捗はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- お客さまの省エネ意識の向上や電気の効率的な利用促進のために節電の呼びかけや節電プログラムを行っています。
- お客様の省エネ意識に貢献できるようにホームページ等で電力使用量等のデータを提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- お客さまの省エネ意識に貢献できるよう、インターネット上の会員制サービスにおいて電力使用量等のデータの見える化を推進しております。
- お客さまに省エネに資する情報提供を心がけるとともに、省エネ意識の向上、節電の呼びかけを行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書の購入により、環境価値を付加した実質再エネ、実質CO₂フリーメニューの提供をおこなっております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	大東建託パートナーズ株式会社 代表取締役社長 守 義浩
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区港南二丁目16番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	当社グループ管理部屋、当社管理建物等への供給を目的とした小売電気事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		大東建託パートナーズ株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6718-9232
		ファクシミリ番号	03-6718-9103
		電子メールアドレス	kr096887@kentak.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		大東建託パートナーズ株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6718-9232
		ファクシミリ番号	03-6718-9103
		電子メールアドレス	kr096887@kentak.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 10 月 26 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.kentaku-partners.co.jp/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.02	0.02

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.478	0.358	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	0.019	
調整後CO ₂ 排出係数	0.527	0.406	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特になし

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	8	17.74%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電は保有していない

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

クールビズなど

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	ダイヤモンドパワー株式会社 代表取締役社長 三谷 建介
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋室町四丁目5番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、卸電力供給者、卸電力取引所等からの電力及び工場の余剰電力等を購入し、 オフィスビル、大規模店舗等の電力自由化対象の需要家への電力小売事業及び電気事業者への電力卸売事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		技術部
	連絡先	電 話 番 号	03-6214-0910
		ファクシミリ番号	03-6214-0915
		電子メールアドレス	dpc_gijutsu@diapwr.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		技術部
	連絡先	電 話 番 号	03-6214-0910
		ファクシミリ番号	03-6214-0915
		電子メールアドレス	dpc_gijutsu@diapwr.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: ダイヤモンドパワー株式会社				
		所在地: 東京都中央区日本橋室町四丁目5番1号				
		閲覧可能時間 平日9時30分～17時00分				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	162.88	49.69

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.632	0.421	99.84%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.515	0.327	
調整後CO ₂ 排出係数	0.612	1.339	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

契約している発電所の運転パターンの効率化や排出係数の小さい事業者からの調達など、排出係数の削減に努めました。
しかし、他社へ転売する電力量に対し自社販売電力量の規模が小さいこと、および他社へ転売する前年度基礎排出係数が悪いことから、自社に残る排出量がマイナス値(異常値)となったため、温対法報告で用いる代替値の規定値である0.441kg-CO₂/kWhとしています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	18,299	7.10%	15,444	13.09%
(FIT電気)	13,373	5.19%	5,519	4.68%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・現時点では、自社等発電所において、再生可能エネルギーによる発電はありません。
- ・再生可能エネルギーによる発電所からの余剰電力利用(購入)、FIT電気の購入の推進に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
375	0.15%	870	0.74%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来るよう努めました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・現状、自社・子会社にて発電設備を保有しておりません。
・弊社と契約している発電所で、弊社の要望で供給パターンが指定できる発電所では可能な限り、熱効率が向上する供給パターンを採用するよう努めました。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・省エネ意識の向上、需要家に対して節電の呼びかけを行っています。
・お客様の省エネ意識に貢献できるようにホームページ等で電力使用量等のデータを提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・本社での対策として、夏場のエアコン設定温度上げなど、節電に努めました。
・会社としては、自動車を保有せず、温室効果ガスの削減に努めました。
・オフィス内のPCについて、パワーセーブを励行しました。
・室内照明について、昼休みや不要時は消灯するよう努めました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	大和エネルギー株式会社 代表取締役 東 武
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス33F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	1.電力小売事業(2023年6月にて撤退) (供給エリア:東北電力ネットワーク、東京電力パワーグリッド、中部電力パワーグリッド、関西電力送配電、中国電力ネットワーク、九州電力送配電 管内) 2.省エネを推進するESCO事業 3.省エネを実現するエネルギー管理事業 4.環境調和、環境保持のための事業・環境商品の開発 5.建築設備の企画・設計・施工 6.風力発電事業・太陽光発電事業 7.その他定款に定める事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		事業統括本部 事業企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	06-4703-3208
		ファクシミリ番号	—
		電子メールアドレス	pps@daiwaenergy.jp
公 表 の 担当部署	名称		事業統括本部 事業企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	06-4703-3208
		ファクシミリ番号	—
		電子メールアドレス	pps@daiwaenergy.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 10 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐	ホームページで公表	アドレス:			
	☒	窓口での閲覧	閲覧場所: 大和エネルギー株式会社本社			
			所在地: 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43			
			閲覧可能時間 平日9:00～18:00			
	☐	冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:				
	☐	その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.25	0.28

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.322	0.344	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.240	0.000	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・再エネメニューの用意
・二酸化炭素排出量の少ない電源を優先的に調達。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

オンサイトPPAなど太陽光発電による電力供給を実施。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で火力発電所を保有していないため対象外

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・オンサイトPPAや自家消費型太陽光発電など、再生可能エネルギーの導入提案を実施。
- ・LEDや空調など省エネルギー提案を実施。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・クールビズ、ウォームビズ等の実施。
- ・昼休憩時に事務所内の照明消灯などを実施。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

なし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 芳井 敬一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市北区梅田三丁目3 番5号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、工場・オフィスビル・倉庫・学校等などの事業所および住居系の個人への電力を供給しております。なお、電力供給エリアについては北海道電力、東北電力、東京電力、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力の9エリアとなっております。 ・発電事業 太陽光発電および水力発電をおこなっております。 ・その他 お客様の省エネルギー対策をサポートするため、省エネの提案を行っています。クリーンな再生可能エネルギーである太陽光発電所の計画から施工まで一貫した提案を行ない発電所の建設を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		環境エネルギー事業本部 電力事業推進部 PPS顧客管理グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-5214-2053
		ファクシミリ番号	03-5214-2052
		電子メールアドレス	daiwa-pps@ml.daiwahouse.jp
公 表 の 担当部署	名称		環境エネルギー事業本部 電力事業推進部 PPS顧客管理グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-5214-2053
		ファクシミリ番号	03-5214-2052
		電子メールアドレス	daiwa-pps@ml.daiwahouse.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 10 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へのお問い合わせ。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	79.34	136.08

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.340	0.485	98.83%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.255	0.426	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・卒FIT太陽光および水力で発電した電力を調達することで排出係数の低減を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	363	0.16%	1,000	0.36%
(FIT電気)	363	0.16%	818	0.29%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・2019年11月より低圧卒FITの太陽光発電による電源調達(再エネ)を行っております。
・他社所有の発電所より太陽光発電による電源調達を行っております。
・2018年11月より岐阜県飛騨市にて970kW(発電容量)の水力発電を開始致しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・2022年度は未利用エネルギーによる発電からの調達はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・引き続き、お客様の電力使用に関する情報をWeb上にて「見える化」を進め、節電への取り組みを促してまいります。

・電力の供給とあわせて、お客様に対し施設の省エネ提案を行いました。
また卒FIT買取に際し蓄電池等のご提案をしております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・カーボンニュートラル戦略を策定し2030年度原則ZEB・ZEH率を100%、
原則すべての屋根に太陽光パネルを設置
・原則、自社発電由来の再生可能エネルギーおよび非化石証書を用いて2023年度RE100を達成を
目指しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	0.00%	0.00%	－	－	－
メニューB	0.210	0.00%	0.00%	－	－	－
メニューC	0.294	0.00%	0.00%	－	－	－
メニューD	0.315	0.00%	0.00%	－	－	－
メニューE	0.378	0.00%	0.00%	－	－	－
メニューF	－	－	－	－	－	－
メニューG	－	－	－	－	－	－
メニューH	－	－	－	－	－	－
メニューI	－	－	－	－	－	－
メニューJ	－	－	－	－	－	－

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

現状は大半を非化石証書購入によって賄っているが、再生可能エネルギー発電所の自社開発にも注力しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	大和ライフエナジア株式会社 代表取締役社長 川村 公一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西新宿6丁目11番3号 Dタワー西新宿5F (主たる事務所)

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 小売電気事業者として、マンション管理組合、オフィスビル、一般家庭などに対して電力の供給を行っていましたが、2023年5月31日をもって小売電気事業から撤退いたしました。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		管理部
	連絡先	電 話 番 号	0120-49-7133
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	dle_customer@dln.jp
公 表 の 担当部署	名称		管理部
	連絡先	電 話 番 号	0120-49-7133
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	dle_customer@dln.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署への問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	14.39	13.45

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.472	0.439	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.415	0.383	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

一部需要家様へのメニューとして、水力発電による電源調達、供給を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	414	1.35%	425	1.39%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

一部需要家様へのメニューとして、水力発電による電源調達、供給を行いました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

発電設備その他の未利用エネルギーを発生させる設備を所有しないため、実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は自社所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

ご使用者様の節電意識を高めるため、一般家庭のお客さまに対して会員サイト上で使用電力量を確認できるサービスを提供いたしました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

クールビズ、ウォームビズの励行等、社内における節電施策を実施いたしました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	100.00%	100.00%	0.000	100.00%	100.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.424	0.00%	0.00%	0.385	0.00%	0.00%
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

一部需要家様へのメニューとして、水力発電による電源調達、供給を行いました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社タクマエナジー 代表取締役社長 西村 賢一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	兵庫県尼崎市金楽寺町二丁目2番33号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	【小売電気事業】 ごみ焼却発電施設等から発生する電気を調達し、電気需要家に対する電気の小売を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	06-6487-4870
		ファクシミリ番号	06-6483-2794
		電子メールアドレス	t-energy@takuma.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		事業推進部
	連絡先	電 話 番 号	06-6487-4870
		ファクシミリ番号	06-6483-2794
		電子メールアドレス	t-energy@takuma.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☒ 冊子(環境報告書等)	冊子名: エネルギー状況報告書				
		入手方法: 窓口問い合わせ				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.04	3.04

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.020	0.130	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.000	0.202	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

ごみ焼却発電施設から発生する電力を調達し、供給することで、温室効果ガスの排出量の抑制に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	30	1.49%	7,960	34.13%
(FIT電気)	30	1.49%	7,788	33.40%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

ごみ焼却発電施設から得られるバイオマス由来の電気を積極的に供給することで、再生可能エネルギーの普及に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
1,918	94.03%	7,688	32.97%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

ごみ焼却発電施設から電気を調達することで、未利用エネルギー等由来の電気の供給拡大を図りました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特にありません。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社内におけるクールビズの奨励、空調温度の適正化など省エネルギー対策を実施しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	WSエナジー株式会社 代表取締役 大村 健太
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西早稲田2-21-12

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	主に事業者を対象に電力を販売。 電源は、balancingグループからの卸供給を受けている。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		WSエナジー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-3207-8839
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@wse.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		WSエナジー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-3207-8839
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info@wse.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 10 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: WSエナジー株式会社				
		所在地: 東京都新宿区西早稲田2-21-12				
		閲覧可能時間 営業日の10:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.84	1.67

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.332	0.632	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.230	0.478	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて排出係数の低い電気事業者からの調達に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて再生可能エネルギーによる発電からの購入に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

他社のバランシンググループに属しているため、代表契約者を通じて自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来よう努めました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社にて火力発電所を有していないため、熱効率向上の措置及び進捗はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家に対する環境コンサルティングを実施している。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

公共交通機関の利用を徹底している。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

一部需要家にCO₂フリー電力プランを提供

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社地域創生ホールディングス 代表取締役 木村 逸弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都豊島区西池袋1-4-10

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は、飲食店や事務所等法人需要家などへの小売を目的とした電力小売事業を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社地域創生ホールディングス
	連絡先	電 話 番 号	03-6388-6454
		ファクシミリ番号	03-6682-9250
		電子メールアドレス	info@chiikisosei.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社地域創生ホールディングス
	連絡先	電 話 番 号	03-6388-6454
		ファクシミリ番号	03-6682-9250
		電子メールアドレス	info@chiikisosei.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス： https://chikisosei.co.jp/wp-content/uploads/2024/02/エネルギー環境計画書.pdf				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所：				
		所在地：				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名：				
	入手方法：					
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	35.88	5.67

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.453	0.441	0.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	—	
調整後CO ₂ 排出係数	0.397	0.385	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

【取組実績】

- ・太陽光等の再生可能エネルギーの開拓と導入の検討

【把握率が100%でない理由】

- ・前年度排出係数を持たない事業者からの受電のため。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未実施となります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点での対応は御座いません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・ホームページ上にて定期的に過剰使用の注意喚起をしてまいります

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・その他対策は御座いません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2023年度より取り組み予定となります。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社地球クラブ 代表取締役社長 尾辻 雅昭
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都渋谷区渋谷三丁目29番8号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 (1) 生協事業所向け<高圧/低圧> 弊社は、2015年4月より、生協関連施設(店舗・宅配センター等)及び親会社の事務所に対して電力供給を開始しました。また、原子力発電に頼らないエネルギー政策の実施と持続可能な社会をめざし、再生可能エネルギーの発電と利用を一体的に推進しています。 (2) 組合員家庭向け<従量電灯> 弊社は、2017年9月、生活協同組合コープみらい(さいたま市南区)の組合員を対象に一般家庭向けの電力供給を開始しました。現在は、東京・東北・中部(長野県)エリアが供給対象です。 ■発電事業 日本生活協同組連合会(親会社)が、全国9箇所の物流センターの屋根に太陽光発電設備を設置し発電しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5778-8868
		ファクシミリ番号	03-5778-8008
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		同上
	連絡先	電 話 番 号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 07 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署への問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	6.25	10.39

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.103	0.175	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.458	0.442	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・再生可能エネルギー電源を積極的に調達し、全体に占める割合を高めていきます。
・2022年度には、「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金」を利用した太陽光発電電源を、東芝エネルギーシステムズ株式会社を通して調達を開始しました。(契約電力(合計):2.25MW、調達開始日:2023年2月1日)

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	47,338	78.21%	38,494	64.80%
(FIT電気)	37,943	62.69%	32,779	55.18%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・親会社である日本生活協同組合連合会が出資参画する岩手県野田村のバイオマス発電所(平成28年7月稼働)より電気の一部を調達しています。
・東京都内では太陽光の買い取りサービスを開始しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・現在、未利用エネルギー等による電力調達は計画しておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・弊社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・太陽光の買い取りサービスを開始しました。
・電源構成やCO2排出係数の情報提供を通して、需要家と一緒に地球温暖化対策の方法を検討していきます。
・弊社の需要家向けwebサービスにて、需要家の日々の使用量の見える化を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

親会社である日本生活協同組合連合会とともに、以下の取り組みを行いました。
・昼休み(12時-13時)の一斉消灯やエレベーターの間欠運転など、節電に努めています。
・環境省が打ち出す「クールビズ」「ウォームビズ」を採用し、年間を通じて省エネに取り組んでいます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	99.99%	99.99%	0.000	100.00%	100.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.487	100.00%	14.33%	0.572	87.77%	0.00%
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非FIT非化石証書(再エネ指定あり)及びFIT非化石証書を購入し、メニューAに調達した再エネに対して、環境価値を付与しました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	秩父新電力株式会社 代表取締役社長 新井 公夫
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	埼玉県秩父市熊木町9-5 秩父ビジネスプラザ

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 主に埼玉県ちちぶ地域およびその姉妹都市の公共施設や民間事業所などの需要家への電力供給を目的とした小売電気事業を実施しております。 ・再生可能エネルギーを利用した電力の買取事業及び売電事業 秩父広域市町村圏組合の清掃工場からの廃棄物発電の余剰電力買電を行っています。また、令和元年度からちちぶ地域を中心としたご家庭の卒FIT太陽光発電設備からの余剰電力を買い取りを始めております。さらに、令和3年度からちちぶ地域のFIT小水力発電所から特定卸供給による買電を開始しました。 これら再生可能エネルギーを、ちちぶ地域およびその姉妹都市の需要家に売電することで、エネルギーの地産地消・地域経済活性化・地域低炭素化を推進しています。 ・地域課題解決に資する事業 上記の事業により出た収益は地域の持続可能な発展のために、地域課題解決に資する事業に再投資する予定です。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		需給管理部
	連絡先	電話番号	0494-22-6700
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	operation@chichibu-pps.co.jp
公表の 担当部署	名称		需給管理部
	連絡先	電話番号	0494-22-6700
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	operation@chichibu-pps.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせがあった際に提出する				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.72	0.94

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.307	0.304	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.279	0.244	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

秩父地域の再生可能エネルギー(卒FIT太陽光発電所など)からの電力調達量を増やした。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	337	14.37%	788	25.49%
(FIT電気)	317	13.53%	766	24.77%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

秩父地域の再生可能エネルギー(卒FIT太陽光発電所など)からの電力調達量を増やした。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
315	13.45%	230	7.43%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

地域内からでた廃棄物の処理熱を活用した電力を調達することで、利用促進しています。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・低CO2メニューと調整後排出係数0.000のRE100電力メニューを、需要家に提供しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・豊島区の保育園5か所に、ちちぶRE100電力の供給を開始いたしました。
・学校法人立教学院の低圧施設32件にちちぶRE100電力の供給を開始いたしました。
・経済産業省「令和4年度 節電プログラム促進事業(電気利用効率化促進対策事業)」に申請し、補助金交付決定を受け、2022年12月～2月に「ちちぶ冬の節電チャレンジ」を実施いたしました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

・東京都の需要家に秩父RE100プラン(調整後排出係数が0.000kg/kWh以下のプラン)の供給を開始いたしました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	千葉電力株式会社 代表取締役 古川 雅純
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1-24F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<発電事業の有無> 無 <都内供給区分> 高圧、低圧(動力)、低圧(電灯) <事業の概要> ・小売電気事業・・・ 弊社は、工場や店舗への電力小売りを行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		カスタマーサポート部
	連絡先	電 話 番 号	043-306-2055
		ファクシミリ番号	043-306-2056
		電子メールアドレス	info@cepco.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		カスタマーサポート部
	連絡先	電 話 番 号	043-306-2055
		ファクシミリ番号	043-306-2056
		電子メールアドレス	info@cepco.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 07 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社フューチャー・リレーション				
		所在地: 東京都中央区日本橋人形町2-25-15-2F				
		閲覧可能時間 10:00 ~ 17:30				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.05	0.41

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.454	0.418	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.506	0.495	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

様々な会社と提携し、FITと卒FIT電源の積極的買取を行っています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	95	4.12%	80	8.13%
(FIT電気)	76	3.29%	65	6.63%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

様々な会社と提携し、FITと卒FIT電源の積極的買取を行っています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

様々な会社と提携し、FITと卒FIT電源の積極的買取を行っています。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で火力発電所保有はしていないこともあり、熱効率向上等の措置は実施していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特にありません。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にありません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社チャームドライブ 代表取締役 吉田結子
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都渋谷区渋谷三丁目1番9号 YAZAWAビルUCF3階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 小規模工場や飲食店といった需要家への小売を目的とした電力小売事業を実施しております。 ・その他 電力小売事業者の需給管理代行業務、立ち上げ支援、内製化支援サービスを提供しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		需給管理部
	連絡先	電 話 番 号	03-6869-1516
		ファクシミリ番号	03-3502-1412
		電子メールアドレス	jukyu@charmedlife.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		需給管理部
	連絡先	電 話 番 号	03-6869-1516
		ファクシミリ番号	03-3502-1412
		電子メールアドレス	jukyu@charmedlife.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社チャームドライブ				
		所在地: 東京都渋谷区渋谷三丁目1番9号 YAZAWAビルUCF3階				
		閲覧可能時間 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.05	0.04

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.474	0.443	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.515	0.489	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

balancing group 内でFIT太陽光の電源を融通しあって、再生可能エネルギーの利用を努力した。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

balancing group 内でFIT太陽光の電源を融通しあって、再生可能エネルギーの利用を努力した。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

専門家へのヒアリングを実施、社内で勉強中です。開発用地の検討として、関東県内で用地見学をしました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

今後、検討します。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

今後、検討します。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	中央電力株式会社 代表取締役社長 丹治保積
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル2階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	マンション一括受電サービス事業とビル・工場・商業施設等に電力小売事業を展開しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		エネルギー企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-6681-3388
		ファクシミリ番号	03-6681-0052
		電子メールアドレス	jyukyu_kanri@denryoku.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		エネルギー企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-6681-3388
		ファクシミリ番号	03-6681-0052
		電子メールアドレス	jyukyu_kanri@denryoku.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 13 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐	ホームページで公表	アドレス:			
	☐	窓口での閲覧	閲覧場所:			
			所在地:			
			閲覧可能時間			
	☐	冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:				
	☒	その他	問い合わせのあった場合に対応。 担当部署:エネルギー企画グループエネルギーマネジメントチーム 連絡先:03-6681-3388			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	7.12	18.12

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.332	0.632	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.338	0.635	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーを起源とする調達を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

エネルギー企画グループにおいて、方針策定、環境メニューの開発・販売、電源及び非化石証書等の調達を実施しています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2022年度の開発等実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家に対し、30分ごとの電気使用量の「見える化」等のサービスを提供することで、電気使用量の削減への働きかけを行いました。
- ・再生可能エネルギー由来の非化石証書を導入したメニューの販売を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・社内システム導入により、紙媒体での帳票を無くすなど、紙の節約を実施しています。
- ・オフィスカジュアル制度を継続しています。
- ・社員の名刺に採用している地球環境を考慮した石灰石由来のストーンペーパー (LIMEX)の使用を継続しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	中央電力エナジー株式会社 代表取締役社長 桑原鉄也
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル2階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	ビル・工場・商業施設等に電力小売事業を展開しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6846-0906
		ファクシミリ番号	03-6846-0901
		電子メールアドレス	jyukyu_kanri@denryoku.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6846-0906
		ファクシミリ番号	03-6846-0901
		電子メールアドレス	jyukyu_kanri@denryoku.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 13 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせのあった場合に対応。担当部署:電力事業部 連絡先:03-6681-3388				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	42.74	36.63

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.493	0.486	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.489	0.438	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーを起源とする調達を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

電力事業部において環境メニューを設けています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

具体的な取り組みは実施していませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家に対し、30分ごとの電気使用量の「見える化」等のサービスを提供することで、電気使用量の削減への働きかけを行いました。
- ・再生可能エネルギー由来の非化石証書を導入したメニューの販売を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・社内システム導入により、紙媒体での帳票を無くすなど、紙の節約を実施しています。
- ・オフィスカジュアル制度を継続しています。
- ・社員の名刺に採用している地球環境を考慮した石灰石由来のストーンペーパー (LIMEX)の使用を継続しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	中国電力株式会社 代表取締役社長執行役員 中川 賢剛
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	広島県広島市中区小町4-33

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・サービス区域: (2022年3月31日現在) 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 他 ・発電設備: (2022年3月31日現在) ・火力(汽力) 8カ所 7,054 千kW ・水力 90カ所 2,906 千kW ・原子力 1カ所 820 千kW ・新エネルギー 2カ所 6 千kW <合計> 101カ所 10,786 千kW

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		中国電力株式会社 カーボンニュートラル推進本部 環境技術グループ
	連絡先	電 話 番 号	082-243-6712
		ファクシミリ番号	082-544-2782
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		中国電力株式会社 カーボンニュートラル推進本部 環境技術グループ
	連絡先	電 話 番 号	082-243-6712
		ファクシミリ番号	082-544-2782
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 25 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.energia.co.jp/energy/energia/jyourei.html				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	25.85	27.67

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.539	0.547	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.682	0.694	
調整後CO ₂ 排出係数	0.547	0.555	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・2022年度は水力発電および他社受電が減少したことなどにより、火力発電比率が増加したためCO₂排出係数は0.547kg-CO₂/kWhとなりました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	8,043	16.77%	8,712	17.22%
(FIT電気)	5,290	11.03%	6,126	12.11%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・当社では、再生可能エネルギーによる電力を約40億kWh発電しています。また、水力、太陽光等で発電された電力を購入し、小売電力における再生可能エネルギー比率の拡大に向けた対応に努めています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
121	0.25%	140	0.28%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・当社は、他社から高炉ガスや廃棄物などの未利用エネルギーにより発電した電力を購入しています。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・当社は都内に火力発電所を所有しておりませんが、所有する火力発電所については、BATの採用、経年火力設備のフェードアウト、バイオマス混焼等により2030年度までに省エネ法ベンチマーク指標達成を目標として設定しています。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・ホームページ等で省エネ・節電PRを実施しており、最新の省エネ家電に関する情報や省エネ・節電の手法・アイデアを紹介しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・省エネルギー・省資源・リサイクル活動をグループ全体で展開し、具体的な実践行動項目を示し、取り組みを進めています。

・供給安定性・経済性に優れる石炭火力を将来にわたって活用していくため、「高効率化」と「低炭素化」に資する技術として、電源開発(株)と共同で設立した大崎クールジェン(株)によりCO₂分離・回収型IGFC(石炭ガス化燃料電池複合発電)の開発を実施しました※1

また、カーボンリサイクル技術として、Gas-to-Lipidsバイオプロセスの開発※2、CO₂有効利用コンクリートの適用拡大(CO₂-SUICOM)※3やトリプルリサイクル技術の開発(CO₂-TriCOM)※4に取り組んでいます。

※1 本事業は経済産業省補助事業(2012～2015年度)および国立研究開発法人 新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)助成事業(2016年度～2022年度)として実施済。

※2 NEDOの受託事業(2020年度～2023年度)として実施中。

※3 NEDOの受託事業(2020年度～2022年度)として実施済。

※4 NEDOの受託事業(2020年度～)として実施中。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	中小企業支援株式会社 代表取締役 九鬼 祐貴
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区芝大門2-7-4

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 一般のご家庭・店舗・工場などの低圧、高圧電力を対象に電力小売事業を行っています。 ・その他 お客様の省エネルギー対策をサポートするため、省エネルギー診断業務や省エネ対策の情報提供等を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		中小企業支援株式会社
	連絡先	電話番号	03-6899-3039
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	support@smes.co.jp
公表の 担当部署	名称		中小企業支援株式会社
	連絡先	電話番号	03-6899-3039
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	support@smes.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お客様のお問合せ時に個別で対応いたします。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.01	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.474	0.432	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.435	0.385	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数の低い発電事業者からの調達を検討。
調達先が未だ未定のため、継続的に検討していく。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

電源構成で再生可能エネルギーの割合が高い発電事業者からの調達を検討。
調達先が未だ未定のため、継続的に検討していく。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの使用は現在考えておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・電気の使用量をインターネットで見える化することにより、省エネ意識の向上を図り省エネ、節電の啓発につなげております。

・省エネの働きかけのみではなく、省エネ設備のご案内等で温暖化対策を行い、複数の需要家へ導入いただいたため、継続してご案内を行っていく。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

営業顧客に向けて、省エネルギー対策を提案、推進しております。

当社事業所における電力使用量低減のため、クールビズを推奨しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	中部電力ミライズ株式会社 代表取締役 社長執行役員 大谷 真哉
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	〒461-8680 愛知県名古屋市中区東新町1番地

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	1. 電気事業 2. ガス事業 3. エネルギー関連の機械器具および設備の製造、販売、賃貸、修理、運転および保守 4. 蒸気、温水、冷水等の熱供給に関する事業 5. 電気通信事業法に定める電気通信事業 6. 各種情報の収集、分析、処理、加工、提供および販売に関する事業ならびに広告事業 7. エネルギー利用、環境および前各号に関する調査、エンジニアリングおよびコンサルティング 8. 法人および個人向け各種支援サービスの提供および斡旋 9. 会員向け優待サービスの提供および斡旋 10. 割賦販売法に定める信用購入あっせん 11. 資金決済に関する法律に定める前払式支払手段の発行および資金移動業 12. 前各号に附帯関連する事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		事業戦略本部 計画グループ
	連絡先	電 話 番 号	052-740-6814
		ファクシミリ番号	052-740-6937
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		事業戦略本部 計画グループ
	連絡先	電 話 番 号	052-740-6814
		ファクシミリ番号	052-740-6937
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 07 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	メールもしくはFAXにて対応いたします。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	50.81	47.21

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.448	0.433	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.513	0.507	
調整後CO ₂ 排出係数	0.380	0.440	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

中部電力グループでは、安全の確保と地域の信頼を最優先に原子力発電の活用に取り組むこと、非効率石炭火力電源の調達を見直すとともに、高効率火力電源を活用すること、再生可能エネルギーの開発を促進することなど、総合的な取り組みを続けることで、地球温暖化対策に取り組んでまいります。当社グループは、お客さま・社会とともにエネルギーインフラの革新を通じて、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※温対法に基づく事業者別排出係数の算出及び公表とは、算定方法や条件が異なるため、数値が異なることがあります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	17,463	15.38%	16,923	15.51%
(FIT電気)	8,780	7.73%	8,508	7.80%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・中部電力グループは、引き続き、再生可能エネルギーの普及拡大に向けて、コストダウンに努めつつ、他事業者との連携も視野に入れて積極的に開発を行ってまいります。

・固定価格買取制度(FIT制度)の買取期間満了を迎えるお客さま向けの買取サービスや、お客さまの店舗や工場等の屋根をお借りし太陽光発電による電気をご利用いただける「オンサイトPPAサービス太陽光の自家消費サービス」やお客さま敷地外の専用発電所から電力系統設備を介して再エネをお届けする「オフサイトPPAサービス」等の低炭素に繋がる新しいサービスを提供してまいります。

・脱炭素社会の実現向け、お客さまのニーズに寄り添ったCO₂フリーメニュー等の地産地消サービス等、新しいサービスを提供してまいります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
25	0.02%	22	0.02%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

工場廃熱利用による発電などからの電力の調達に努めます。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・ご家庭向け会員サイト「カテエネ」や、法人・事業者のお客さま向け会員サイト「ビジエネ」などを通じて日ごとの30分電力量の確認や、当月使用量及び前年同月値との比較を棒グラフと表にて情報提供するなど、需要家さまに省エネ意識を向上頂けるようサービスの提供しております。
- ・家電製品(LED、冷蔵庫、エアコン、電子レンジ、コンセントプラグ等)の省エネ豆ちしきの情報提供や、使用方法の工夫による削減量・額の目安を提供しております。
- ・気温の状況や自社アンケートにより入手した顧客属性情報を基にした、類似のお客さま群との使用状況に関する比較情報を、毎月の電気使用量に関する省エネ分析レポートにおいて提供しております。当該レポートと合わせて、省エネアドバイスの情報を提供しております。
- ・エコキュートの省エネ性と、ZEH・ZEH補助事業に関する情報の提供や、エコキュートなどのオール電化機器の購入キャンペーンに関する情報をメールマガジンで提供しております。
- ・電気の使用量が需要家の設定値に達した翌日にメールでお知らせしております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・中部電力グループとして、流水の清潔の保持や地元企業と連携し森林保護の活動や、川岸・海岸の清掃活動を行っております。
- ・環境に配慮した行動が自発的に出来る人材を育成するべく、次世代層に対する教育支援活動の展開や、地元大学と産学連携を結び、エネルギー環境教育による環境研究・活動および実施を行っております。
- ・CO2削減のための研究(温水ヒートポンプ、超コンパクトモジュール型ハイブリッド熱処理炉、スマートハウス等)を行っております。
- ・投資家・ステークホルダーのみなさまに、気候変動をはじめとするCDPおよびTCFD等の情報開示の充実に取り組んでおります。
- ・オフィス内での省エネ・節電の取組みを行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社津軽あつぷるパワー 代表取締役 古舘 将司
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	青森県平川市松崎西田41-10

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は青森県平川市に本社があり、グループ会社である「株式会社津軽バイオマスエナジー」で発電したFIT電気(バイオマス)を地元公共施設等に売電しております。 東京都内には、平川市と協定を結んでいる港区の2施設に電気を供給しております。 2022年9月1日付でグループ会社である(株)横須賀アーバンウッドパワーを存続会社として、(株)津軽あつぷるパワーを吸収合併するとともに、合併後の新会社の商号を(株)タケエイでんきとすることにいたしました。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社タケエイ エネルギー事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6361-6820
		ファクシミリ番号	050-3204-7336
		電子メールアドレス	takeei-denki@takeei.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社タケエイ エネルギー事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6361-6820
		ファクシミリ番号	050-3204-7336
		電子メールアドレス	takeei-denki@takeei.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社タケエイでんき				
		所在地: 東京都港区芝公園二丁目4番1号 A-10階				
		閲覧可能時間 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.02	0.01

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.058	0.082	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.412	0.440	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

バイオマス発電所よりFIT電気を調達し、CO2排出係数の低減に取り組んでおりました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	268	82.11%	107	82.13%
(FIT電気)	268	82.10%	107	82.13%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

電力の90%以上をバイオマス発電所(FIT)から調達するよう計画しておりました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所の所有はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客様に合わせた省エネのご提案等を行ってまいりました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

クールビズの実施をしてまいりました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

メニューの販売がなかったため、メニュー別係数を使つての取組実績はありません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	TGオクトパスエナジー株式会社 代表取締役 中村 肇
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都中央区日本橋箱崎町41-12 KDX箱崎ビル8階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は、家庭要需要家などへの小売を主目的とした 電力小売事業を実施しています。 ・その他 お客様の省エネルギー対策をサポートするため、時間ごとの使用量グラフの通知や、節電キャンペーンを実施中です。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電源調達部門
	連絡先	電 話 番 号	03-3666-5771
		ファクシミリ番号	なし
		電子メールアドレス	powerprocurement@octopusenergy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電源調達部門
	連絡先	電 話 番 号	03-3666-5771
		ファクシミリ番号	なし
		電子メールアドレス	powerprocurement@octopusenergy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 04 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせ(メール、電話)に応じ、情報提供を行う。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.76	11.34

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.394	0.447	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.000	0.391	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

非化石証書の購入を通じて2022年度も排出係数を低減しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再エネ発電所からの電源調達交渉に取り組んでおります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー発電所からの電源調達交渉に取り組んでおります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

非化石証書付きの実質再エネメニューを主たるメニューとして展開しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

メインオフィスである箱崎オフィスにおいて状況に応じ消灯/エアコンの停止などを実施し、節電・CO2排出量の削減に取り組んでいます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書を購入し排出係数の低減に取り組んでおります。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	ティーダッシュ合同会社 社長 田中 稔道
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中央区京橋二丁目2番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 一般家庭、および低圧の業務用需要家向け電力小売事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		経営企画部
	連絡先	電 話 番 号	03-6680-7246
		ファクシミリ番号	03-3243-1174
		電子メールアドレス	keikika@erex.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		経営企画部
	連絡先	電 話 番 号	03-6680-7246
		ファクシミリ番号	03-3243-1174
		電子メールアドレス	keikika@erex.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 04 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	経営企画部にメールにて問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	15.93	17.02

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.470	0.453	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.414	0.396	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

具体的な取り組み実績はございません。
今後は、当社グループ全体で低炭素電源の開発や低炭素電源の利用を促進してまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社はイーレックスグループから電源調達をしており、今後グループ会社で保有するFIT電源等からの調達なども検討いたします。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現状、未利用エネルギーでの供給はございませんが、今後該当する発電所からの調達を検討してまいります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で保有する火力発電所はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客様の使用電力量のご案内やペーパーレスの促進など、お客様にも参加いただきやすいサービス提供をいたします。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

グリーンプラン(再エネ指定の非化石証書を利用した二酸化炭素排出係数(調整後排出係数)をゼロとするプラン)のサービスイン、及び販売活動の実施

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	デジタルグリッド株式会社 代表取締役社長 豊田 祐介
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目7-1 赤坂榎坂ビル3階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力取引プラットフォーム運営事業 法人向けに電力をP2P※で取引するプラットフォームの運営をしています。 ※P2P…Peer to Peer需要家と発電家または需要家同士で直接電力売買を行うこと ・環境価値取引プラットフォーム運営事業 自家消費されている環境価値を証書化し、取引するプラットフォーム運営をしています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		プラットフォーム事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-6256-0063
		ファクシミリ番号	03-6256-0009
		電子メールアドレス	plgmgmt@digitalgrid.com
公 表 の 担当部署	名称		広報室
	連絡先	電 話 番 号	03-6256-0063
		ファクシミリ番号	03-6256-0009
		電子メールアドレス	plgmgmt@digitalgrid.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 02 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	HP上からの問い合わせに応じ公表				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	14.55	55.72

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.474	0.434	99.34%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.508	0.532	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社では下記2つに取り組むことで、再生可能エネルギー導入に貢献し、CO2削減に貢献してまいります。

- 新規再生可能エネルギーが売電しやすい場(プラットフォームの提供)
当社の提供するIoTデバイス(デジタルグリッドコントローラ)やAI技術を用いることで、再生可能エネルギーの需給管理を支援し、小売電気事業資格を持たない事業者でも需要家に対して直接売電できるプラットフォームを提供しております。
- 自家消費型の再生可能エネルギー導入促進
当社の保有するIoTデバイスでは、①計量法に準拠した電力量測定、②発電の遠隔監視、③自家消費された環境価値のJクレジット化が可能です。
当該デバイスを普及させることで、屋根などに太陽光(PV)を設置し、自家消費をするモデルを支援してまいります。

*前年度排出係数を持たない新規参入事業者からの受電等により、把握率100%未満となっております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・FIT電気に頼らない、NonFITの再生可能エネルギーの導入を進めてきました。
- ・今後も、太陽光を中心にオンサイト、オフサイトPPAにより利用量が増えていく見込みです。
- ・長期的には、太陽光に限らずバイオマスや風力などプラットフォームで取り扱いされる再生可能エネルギー総量の割合を増やしてまいります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用予定はありません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家の皆様に、ニーズに応じたREメニューを提供することで、需要家の皆様の排出係数への意識付けを行ってまいります。
・電力使用量については30分ごとの電力見える化画面を用意しており、その日毎の電力使用量に応じて当社で評価をしております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にございません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の 氏名)	テス・エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 高崎敏宏
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	大阪市淀川区西中島6-1-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 ・発電事業(子会社含む) ・コージェネレーション、LNGサテライト設備、太陽光発電設備等のエンジニアリング事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力需給グループ 電力小売チーム
	連絡先	電 話 番 号	06-6309-6778
		ファクシミリ番号	06-6308-0948
		電子メールアドレス	tess-pps@tess-eng.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力需給グループ 電力小売チーム
	連絡先	電 話 番 号	06-6309-6778
		ファクシミリ番号	06-6308-0948
		電子メールアドレス	tess-pps@tess-eng.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署に問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	3.40	1.73

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.404	0.527	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.348	0.472	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出量無効化クレジットの活用。
従来利用されていない排熱を活用した発電設備からの電気の調達の推進(新エネルギー)

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT制度を活用した再エネ発電所の建設を進めている。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーについては活用をしていない。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

保有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電力使用量についてポータルサイトを案内、需要者で30分データを確認できるようにした。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

品質向上・ISO推進委員会 監理責任者 及び 実施責任者
点検体制:ISO事務局及び外部審査機関による審査, 排出係数は環境省への報告審査

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	テプコカスタマーサービス株式会社 代表取締役社長 正木 まり
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区芝三丁目2番18号 NBF芝公園ビル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	特別高圧、高圧、低圧(非住宅)の建物・施設のお客さまを対象に、全国(沖縄を除く)で電力小売事業を実施しています。 ※都内への供給は特別高圧・高圧のみ

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		新電力事業本部
	連絡先	電 話 番 号	03-6371-1439(代表)
		ファクシミリ番号	03-6371-1488
		電子メールアドレス	shindenryoku@tepeco-cs.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		新電力事業本部
	連絡先	電 話 番 号	03-6371-1439(代表)
		ファクシミリ番号	03-6371-1488
		電子メールアドレス	shindenryoku@tepeco-cs.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 本社6階受付				
		所在地: 東京都港区芝三丁目2番18号NBF芝公園ビル				
		閲覧可能時間 平日 10:00～16:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	19.35

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.489	99.90%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.808	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.465	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

電源調達時には、排出係数が小さい電源等を優先的に検討した。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	39	0.10%
(FIT電気)	-	-	39	0.10%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

電源調達時には、再生可能エネルギーの利用拡大を検討した。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	165	0.42%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

電源調達時には、未利用エネルギーの利用拡大を検討した。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家が小売電気事業者を選択する際の一助となるよう、弊社ホームページ上で電源構成比を公表した。
- ・30分毎の電力量や電気料金等をWeb上で確認できるサービスを継続した。
- ・電気のご使用量が、予め設定していただいた上限値に達した場合にメールでお知らせするサービスを継続した。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・社内での省エネ推進、本社事務所におけるグリーン電力証書の利用を実施継続した。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東京電力ベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 高瀬 正司 (TEPCOライフサービス(株)の権利義務を承継)
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区内幸町1丁目1-3

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	(TEPCOライフサービス(株)の事業概要について記載) ・低圧供給による電灯需要顧客に対する電気小売事業 ※なお、同社の小売事業は2023年2月1日付で廃止している。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		東京電力ベンチャーズ株式会社 企画・総務部
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	tls@tepcovoentures.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		東京電力ベンチャーズ株式会社 企画・総務部
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	tls@tepcovoentures.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 11 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 東京電力ベンチャーズ(株) 本社内				
		所在地: 東京都千代田区内幸町1丁目1-3				
		閲覧可能時間 平日 8:40-17:20				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2.58	2.12

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.457	0.541	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.401	0.485	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

(特にありません)

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

(TEPCOライフサービス社では、BGによる調達のみとしており、自社での再生可能エネルギー供給を行っておりません)

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

(特にありません)

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

(火力発電所を保有しておりません)

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

(特にありません)

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

(特にありません)

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社デライトアップ 代表取締役 中込眞次
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1508

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 主に多店舗展開をしている法人様への小売りを目的とした電力事業 ・省エネ機器の販売 LED照明等の提案・販売

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社デライトアップ
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info01@delightup.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社デライトアップ
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	info01@delightup.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お客様のお問合せ時に個別で対応いたします。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.77	0.22

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.478	0.444	79.97%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.479	0.460	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・太陽光電源の調達を視野に入れていたが、そもそも市場調達が不安定で事業の縮小を優先したため、取組自体ができていない

・把握率については、前年度排出係数を持たない新規参入事業者からの受電のため

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーも同様に事業縮小を優先したため、取組ができていない

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現在、未利用エネルギーを活用した発電所は利用しておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現在、弊社にて火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

LED照明等の省エネ機器をお客様へ積極的に推奨しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・発電施設を持たない事業者として、電源の負担を減らすべくインバランスの削減に努めています
- ・オフィスでの節電、LED照明の導入

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	TERA Energy 株式会社 代表取締役 竹本了悟
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	京都府京都市右京区西京極堤外町18-124

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力小売事業、東北・東京・中部・関西・中国・四国・九州各電力管内で需給を行う。株式会社UPDATER(みんな電力株式会社)より電力を調達。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		管理部
	連絡先	電 話 番 号	075-874-4851
		ファクシミリ番号	075-874-4852
		電子メールアドレス	supply_demand@tera-energy.com
公 表 の 担当部署	名称		TERA Energy株式会社
	連絡先	電 話 番 号	075-874-4851
		ファクシミリ番号	075-874-4852
		電子メールアドレス	info@tera-energy.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 24 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://tera-energy.com/renewable-energy/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.00	0.01

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.007	0.027	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.306	0.274	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

前々年度と比較すると、全電源におけるCO₂排出係数は増加したが、再生可能エネルギーの利用率を高める事が出来た為、前々年度と同様に温室効果ガス排出量を削減する事ができた。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	48	74.59%	253	54.50%
(FIT電気)	48	74.59%	253	54.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギー を電源とする発電事業者からの調達を積極的に進める事ができたため、再生可能エネルギーの利用量を高める事が出来た。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を自社等で所有しておりません

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

オンラインによるセミナー・勉強会の開催

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社テレ・マーカー 代表取締役社長 栗原 那広
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	北海道札幌市中央区南1条西6丁目15-1 札幌あおばビル9階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	小売電気事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		CS事業本部 新電力事業部 需給管理グループ
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	jukyukanri@telemarker.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		CS事業本部 新電力事業部 需給管理グループ
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	jukyukanri@telemarker.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 10 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	要望に応じて開示				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1.92	1.91

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.392	0.452	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.350	0.396	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

卸市場以外の取引先を選定する際に、極力排出係数の少ない事業者を選定し契約実施しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

今後、太陽光の買取や排出係数の低い電源の調達を検討していきます。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等の利用実績はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

SNSやホームページにて節電情報などを発信し、需要家全体に電気使用量の削減を促しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にございません。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	電源開発株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 菅野 等
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中央区銀座六丁目15番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	4つのセグメントで事業を展開しています。 ・電気事業 日本国内にて発電事業、送電事業、電力小売事業を行っています。 ・海外事業 海外にて発電事業やコンサルティング事業を行っています。 ・電力周辺関連事業 電力設備の保守や炭鉱権益の保有、石炭の輸入・輸送など、電気事業の円滑かつ効率的な遂行をサポートする事業を行っています。 ・その他の事業 バイオマス燃料の製造や情報通信事業など、J-POWERグループが保有する経営資源とノウハウを活用する事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		エネルギー企画部
	連絡先	電 話 番 号	03-3546-9356
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	jp_kouri@jpower.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		エネルギー企画部
	連絡先	電 話 番 号	03-3546-9356
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	jp_kouri@jpower.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 電源開発株式会社				
		所在地: 東京都中央区銀座六丁目15番1号				
		閲覧可能時間 9:30-17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	6.31	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.461	*0.441	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	—	
調整後CO ₂ 排出係数	0.353	*0.441	

*異常値につき代替値にて公表

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特にございません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	452	3.31%	45	3.28%
(FIT電気)	452	3.31%	45	3.28%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

○風力
2023年7月現在で、国内27地点(運転中20地点、更新工事中3地点、建設中4地点)の合計出力723,992kWの風力発電設備を保有。
更新工事中地点 例)新苫前ウィンベラ発電所(北海道)30,600kW(2023年度運転開始予定)
建設中地点 例)上ノ国第二風力発電所(北海道):41,532kW(2023年度運転開始予定)
○太陽光
・FIT法による太陽光第10回入札において、福岡県北九州市(約3万kW)および兵庫県姫路市(約2 千kW)の2件の太陽光発電プロジェクトを落札し取り組みを推進。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

国内全7ヶ所の石炭火力発電所において、適切な運用管理とメンテナンスを行うことにより、石炭火力としては高い熱効率を維持しております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

問い合わせのあった需要家に対して、詳細な電力使用量データやCO2排出係数等の情報提供を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

○松島火力発電所(長崎県)において、既設発電所に新たにガス化設備を付加するアップサイクル推進するGENESIS松島計画を推進しております。

※GENESIS松島計画は2号機(出力50万kW)に新たにガス化設備を付加し、CO2をはじめとする環境負荷を速やかに低減しつつ電力の安定供給を実現するものです。また、バイオマス、アンモニア等カーボンフリー燃料の導入により、更なるCO2削減の実現を目指す取り組みです。

○大崎クールジェン※プロジェクトを通じて、CO2フリー水素発電の商用化を見据えた段階的な実証試験を進めています。現在は、石炭ガス化技術とCO2分離・回収技術の実証を進めることで、水素濃度を高めたガスでの発電試験を行うとともに、さらに燃料電池も組み込んで水素利用と水素発電を可能にする実証試験に取り組んでいます。

※大崎クールジェン:J-POWERと中国電力㈱との共同、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の助成事業。

○中外炉工業㈱、(一般)電力中央研究所、(大)大阪大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所と共同で「CO2フリー燃料アンモニアの火力発電所での利用に向けた研究開発」を提案し、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)事業に採択。既設発電所へのアンモニア混焼に向けて取組みを推進しております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2022年度の実績はございません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	電力保全サービス株式会社 代表取締役 小川 大輔
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	愛知県名古屋市中区東桜二丁目9番34号 成田ビル高岳9階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 ↳小売電気事業者同士で形成されているバラシググループに加入させていた ただき、電力を調達し、工場・事務所等事業者様向けに電力小売事業を行って ます ・省電力の為のコンサルタント及び設備機器の販売

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		総務部
	連絡先	電 話 番 号	052-686-0095
		ファクシミリ番号	052-686-0368
		電子メールアドレス	white@eps-hozen.com
公 表 の 担当部署	名称		総務部
	連絡先	電 話 番 号	052-686-0095
		ファクシミリ番号	052-686-0368
		電子メールアドレス	white@eps-hozen.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.eps-hozen.com/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.05	0.04

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.373	0.310	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.317	0.254	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特になし

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用は現在考えておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電気の使用量をインターネットで見える化することにより、省エネ意識の向上を図る。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社東急パワーサプライ 代表取締役社長 村井 健二
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー14階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	小売電気事業 ・弊社は、商業施設・オフィス・学校など特別高圧・高圧受電のお客さまや、住宅など低圧受電のお客さまへの電力を販売しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力企画室電力企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-6756-8590
		ファクシミリ番号	03-6756-9760
		電子メールアドレス	t-power@tokyu-ps.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力企画室電力企画グループ
	連絡先	電 話 番 号	03-6756-8590
		ファクシミリ番号	03-6756-9760
		電子メールアドレス	t-power@tokyu-ps.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署に問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	304.35	302.39

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.515	0.443	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.447	0.349	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・卒FIT電気(太陽光)の買取りを継続的に実施しました。また今年度、より広く買取りを進められるように買取金額を上昇させました。
・高度化法目標達成に向けて非化石証書を購入しました。また電気供給に併せたCO2オフセットサービスの販売に注力しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	937	0.16%	1,595	0.23%
(FIT電気)	57	0.01%	183	0.03%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・卒FIT電気(太陽光)の買取りを継続的に実施し、買取金額を上昇させたこともあり買取量も増加しています。
・電気供給の取次サービスを通じて再生可能エネルギーの販売に注力しました。
・オフサイトCPPAの導入を行い、今年度下旬から実際に再生可能エネルギーの供給が始まる予定です。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は自社発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・ホームページ上のお客さま専用サイト(マイページ)およびスマートフォン向けアプリを通じ、お客さまに電気のご使用状況を確認いただくことで、省エネや節電に活用いただいております。
・出資元である東北電力株式会社からの再生可能エネルギーの取次ぎにより、東急電鉄 世田谷線の再生可能エネルギー100%運行を実施しており、イベントや車内広告を通じ再生可能エネルギーの広報活動に取り組みました。
・世田谷区様が所有するFIT太陽光発電所の電気を買取り、区内のバス停50か所と東急関連施設2か所に供給しました。
・オフサイトCPPAの導入について、都内需要家へ供給を行うことについてプレスリリースを行うと共に、他の事業者等から導入に至った経緯等の問合せについて対応を実施いたしました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

ペーパーレス会議の実施、会議室・打合せスペース等の不使用時の消灯の徹底等を推進しました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東京エコサービス株式会社 代表取締役 大久保 一成
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区浜松町一丁目10番17号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 2010年4月より、主に東京23区内の区立小中学校および区立施設へ電力小売事業を実施しています。 また、2020年4月より特別高圧の施設にも供給を開始しました。 電源は、東京二十三区清掃一部事務組合の運営する清掃工場のごみ発余剰電力と東京ガス株式会社で発電した電力ならびに日本卸電力取引所(JEPX)から購入した電力を使用しています。また、一部学校で発電した太陽光発電電力も使用しております。 2021年10月より、実質再生可能エネルギー100%メニューを開始しています。 ■発電事業 出資元の東京二十三区清掃一部事務組合の運営する清掃工場では、全工場で余剰電力を弊社に売電しております。(一部のFIT電気は送配電事業者買取) また、区が有する太陽光発電設備から発電されるFIT電気についても購入しております。 ■その他 お客様がCO2排出量を把握して頂くため、毎月「電気料金に関するご報告書」、「CO2排出量に関するご報告書」、「電気使用量のご報告書」にて報告を実施しております。 また、需要家窓口所管に対しての清掃工場見学会を開催し、ごみ発電も併せて理解して頂く事や地球温暖化に対してCO2削減を目的に実施していきます。 また、清掃工場見学会が実施できない場合の為に、環境教育の一環として「清掃工場DVD」の貸出しを東京二十三区清掃一部事務組合と協働で実施しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5408-5376
		ファクシミリ番号	03-5402-5387
		電子メールアドレス	teco@tokyoecoservice.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5408-5376
		ファクシミリ番号	03-5402-5387
		電子メールアドレス	teco@tokyoecoservice.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 04 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.tokyoecoservice.co.jp/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	16.05	14.09

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.084	0.069	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.000	0.003	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

全電源のCO₂排出係数を0.1kg-CO₂/kWh以下にするために清掃工場電源比率を75%以上とすることを目標としており、令和4年度は80%であり目標値を達成し、0.075kg-CO₂/kWhとなりました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	63,500	33.19%	60,751	29.62%
(FIT電気)	19,648	10.27%	7,242	3.53%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT電気(渋谷清掃工場)の買取期間が終了したため、FIT電気利用率は減少したが、清掃工場の卒FIT電気を購入することで、再生可能エネルギー利用率を約30%に維持した。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
93,831	49.04%	110,827	54.04%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

電源工場の入れ替えにより、5%増加した。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社等の発電設備の効率向上を提案して参ります。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家の皆様に毎月、「CO2排出量に関するご報告書」、「電気使用量のご報告書」にて報告を実施しております。
- ・「電力見える化システム」により、需要家の皆さまへ節電意識の向上を図って頂けるサービスを実施しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・本社では夏季(5月～10月)にクールビズ、冬季にウォームビズを行っており、冷暖房電力の低減に努めております。
- ・社員の移動等には、公共機関の乗り物を利用して、CO2排出削減に努めております。
- ・自治体の地球温暖化対策推進事業に賛同し、脱炭素社会に向けた取組みを実施しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東京エコサービス株式会社 代表取締役 大久保 一成
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都港区浜松町一丁目10番17号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■小売電気事業 2010年4月より、主に東京23区内の区立小中学校および区立施設へ電力小売事業を実施しています。 また、2020年4月より特別高圧の施設にも供給を開始しました。 電源は、東京二十三区清掃一部事務組合の運営する清掃工場のごみ発余剰電力と東京ガス株式会社で発電した電力ならびに日本卸電力取引所(JEPX)から購入した電力を使用しています。また、一部学校で発電した太陽光発電電力も使用しております。 2021年10月より、実質再生可能エネルギー100%メニューを開始しています。 ■発電事業 出資元の東京二十三区清掃一部事務組合の運営する清掃工場では、全工場で余剰電力を弊社に売電しております。(一部のFIT電気は送配電事業者買取) また、区が有する太陽光発電設備から発電されるFIT電気についても購入しております。 ■その他 お客様がCO2排出量を把握して頂くため、毎月「電気料金に関するご報告書」、「CO2排出量に関するご報告書」、「電気使用量のご報告書」にて報告を実施しております。 また、需要家窓口所管に対しての清掃工場見学会を開催し、ごみ発電も併せて理解して頂く事や地球温暖化に対してCO2削減を目的に実施していきます。 また、清掃工場見学会が実施できない場合の為に、環境教育の一環として「清掃工場DVD」の貸出しを東京二十三区清掃一部事務組合と協働で実施しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5408-5376
		ファクシミリ番号	03-5402-5387
		電子メールアドレス	teco@tokyoecoservice.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5408-5376
		ファクシミリ番号	03-5402-5387
		電子メールアドレス	teco@tokyoecoservice.co.jp

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東京ガス株式会社 代表執行役社長 笹山 晋一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■電力小売事業 2016年4月より低圧のお客さまへ電気販売を行っています。 ・対象エリア: 東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 山梨県 静岡県 愛知県、岐阜県(一部除く)、三重県(一部除く)、長野県、北海道 ※離島除く ■発電事業 川崎天然ガス発電(株)、(株)扇島パワー等 電源を約160万kW確保しており今後拡充していきます。 発電には最新鋭の高効率なガスタービンコンバインドサイクル方式を採用しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		リビング戦略部
	連絡先	電 話 番 号	0570-002-239(東京ガスお客さまセンター ナビダイヤル)
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		リビング戦略部
	連絡先	電 話 番 号	0570-002-239(東京ガスお客さまセンター ナビダイヤル)
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 11 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.tokyo-gas.co.jp/sustainability/download/index.html				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2,701.39	2,235.67

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.447	0.356	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.340	0.340	
調整後CO ₂ 排出係数	0.454	0.330	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

高効率LNG発電所からの電力調達を中心とし、かつ最大効率、メリットオーダーを考慮した発電所稼働に努め、排出係数の削減に取り組んでおります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	79,050	1.31%	90,348	1.44%
(FIT電気)	30,348	0.50%	28,856	0.46%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

(洋上風力) 茨城県鹿島港における洋上風力発電事業を推進し、調査や設計等、開発を進めています。また、NEDOグリーンイノベーション基金事業/洋上風力発電の低コスト化プロジェクト着実について、検討を進めています。
(バイオマス) 建設中であった伏木万葉埠頭バイオマス発電所が稼働開始しました。市原八幡埠頭バイオマス発電所については、着実に建設を進めており23年度の稼働を目指しています。
(太陽光) 2023年3月31日に四国電力株式会社と共同で、備前雲の上太陽光発電所(発電出力:7万kW)及び夢前夢ふる里太陽光発電所(発電出力:5万kW)における太陽光発電事業を取得。本事業は、2020年12月から発電所の営業運転を開始し、再生可能エネルギー固定価格買取制度(以下「FIT制度」)を利用して、発電する電気の全量を中国電力株式会社および関西電力株式会社へ売電しており、発電出力は12万kW(太陽電池の合計出力約18万kW)となります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
63,903	1.06%	88,341	1.41%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2022年度については、清掃工場のごみ発電により調達し、都内の利用量は88,341千kWhとなりました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・22年3月に買収したガスエンジン発電所である(株)茂原パワーと(株)椎の森パワーを運転開始しました。
(なお、両社は2022年9月に合併し、(株)東京ガスコルザパワーとなっております)
- ・ガスエンジンは優れた起動性能と負荷追従性を有し、複数台を効率よく運用することで、不安定な再生可能エネルギーを補完する電力調整を高い発電効率で行うことが可能となります。
- ・プラントメーカーなどと連携を取りながら定期的なメンテナンス体制を維持し、熱効率維持に努めております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・お客さま向けWeb会員サービス「myTOKYOGAS」会員向けに、省エネ行動を促進するために、過去の電力使用量等の適宜照会等の情報提供を実施しています。
- ・業務用ビル、工場等のお客さま向けの「TGグリーンモニター」・「楽省！BEMS」、「TGみるネット」では、エネルギーの見える化、分析レポートの提供、システム制御等を行い、お客さまの省エネ・省CO2に貢献しています。
- ・ご家庭の暮らしの中で、省エネを推進するための方法やその効果、省エネに貢献する住宅設備などの情報を冊子やホームページを通じて提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・事務所での取り組み
当社の事業所等では、コージェネレーションシステムや省エネ設備の導入、照明や空調機器の高効率化等の設備改修といったハード面の取り組みに加え、CO2濃度に合わせた外気導入量調整、照度管理、湿度・室温の適正管理などの実効性の高い省エネ活動を行っています。
また、事業所等において再エネへの切り替えを推進しており、浜松町本社ビルにおいては非化石証書付実質再エネ電力への切り替えを実施し、またガスについてはカーボンニュートラル都市ガス(CNL)への切り替えを実施しました。
また、その他事業所において順次、非化石証書付実質再エネ電力への切り替えを実施しています。
- ・森林保全・緑化活動
当社は、長野県北佐久郡に「長野・東京ガスの森(194ha)」を開設し、2005年より森づくりや保全活動を通じて地球温暖化防止に貢献しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	2.76%	5.02%	0.000	1.52%	3.01%
メニューB	-	-	-	0.000	1.52%	0.00%
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	0.373	1.52%	3.01%
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書(再エネ指定)を用いた実質再エネの電気をメニューAとして供給しています。
非化石証書(再エネ指定なし)を用いた電気をメニューBとして供給しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東京電力エナジーパートナー株式会社 代表取締役社長 長崎 桃子
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都中央区銀座8丁目13番1号 銀座三井ビルディング

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	小売電気事業、ガス事業等 ・お客さまのご要望に沿った最適なトータルソリューションの提案、充実したお客さまサービスの提供、安価な電源調達 ・小売電気事業者登録番号:A0269 ・ガス小売事業者登録番号:A0002 詳細は当社ホームページをご覧ください。 https://www.tepco.co.jp/ep/company/gaiyou/

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		東京電力エナジーパートナー株式会社 経営改革本部 業務統括室 総務グループ
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	epsoumu@ml.tepco.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		東京電力エナジーパートナー株式会社 経営改革本部 業務統括室 総務グループ
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	epsoumu@ml.tepco.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 12 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: http://www.tepco.co.jp/ep/index-j.html				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
☐ その他						

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	21,322.88	20,925.28

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.457	0.457	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.510	0.511	
調整後CO ₂ 排出係数	0.440	0.376	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<注意>記載のCO₂排出量ならびに排出係数等については、現在国の確認を受ける中で作成しているものです。国の確認の結果等により、今後値が変更となる可能性があります。また温対法に基づく事業者別排出係数とは、算定方法や条件が異なるため、数値が異なります。

・脱炭素社会の実現に向け、当社はTEPCOグループの一員として再生可能エネルギーの主力電源化への取り組みを推進し、再生可能エネルギーの持つ価値を最大化するとともに社会全体の脱炭素化に貢献してまいります。
・自由競争環境下でのCO₂削減は大きな挑戦と考えていますが、上記取り組みの推進により、排出係数の低減に努めております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	6,694,395	14.33%	6,225,473	13.60%
(FIT電気)	3,642,348	7.80%	3,318,390	7.25%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・当社は太陽光由来の電源と環境価値を提供する「サンライトプレミアム」、水力発電所の電気をお届けする「アクアプレミアム」、自然エネルギー由来の環境価値を証書化した「グリーン電力証書」、住宅等で生まれた環境価値と電気をお届けする「非化石証書付電力」等多彩なメニューをお客さまのご要望に沿ってご提案します。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
792,179	1.70%	579,139	1.27%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

(前年度の利用量、利用率については、算定方法の見直しにより数値を修正しております。)

引き続き未利用エネルギーにより発電した電力を調達してまいります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社では火力発電設備を保有していません。
(2019年4月1日より火力発電所は株式会社JERAに承継されています。)

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・「でんきの省エネ術」による家電のご使用方法の紹介をはじめ、ご家庭向け会員サイトである「くらしTEPCO」や、法人・事業用のお客さま向け会員サイトである「ビジネスTEPCO」などで省エネ情報の提供などを積極的に行っています。

・お客さまのニーズに応えるべく、発電の際にCO₂を排出しない水力発電の電力のみを販売する料金メニュー（アクアプレミアム等）を提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・CO₂ゼロメニューのご提供

水力発電の電力のみを販売する料金プラン、小規模の非FIT太陽光発電設備を中心に太陽光由来の電気と環境価値を提供する料金プランを創設しています。

・省エネ・省CO₂サービスの提供

法人向け、家庭向け双方にグループ企業一体で各種エネルギーサービスをご提供しています。（例．EVの活用、法人のお客さま向け省エネ分析サービス、ご家庭の省エネリフォーム等）

・カーボンニュートラル社会の実現には、再エネや原子力、火力など電源側のゼロエミッション化に加え、電気を利用するお客さまの、エネルギー利用におけるカーボンニュートラルも大切な要素です。当社は太陽光パネル、EV、蓄電池、エコキュート等の電化設備と、AI制御を組み合わせるなど、効率的な再エネ利用と電化を通じカーボンニュートラルに貢献します。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	公益財団法人東京都環境公社 理事長 小川 謙司
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都墨田区江東橋四丁目26番5号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■電力小売事業 再生可能エネルギー由来の電気を率先して選択するモデルを実践して見せるため、自ら小売電気事業者となり、自社施設及び都の施設へ再生可能エネルギー由来のFIT電気を供給するモデル事業を実施している。 ■新電力の設立を検討している自治体等への支援事業 上記小売電気事業を通じて培った知見を冊子にまとめ、「新電力虎の巻」として展開している。また、申し込みをいただいた自治体等に対しては、個々の状況に応じたアドバイスをを行う支援事業を実施している。 ■その他 東京都地球温暖化防止活動推進センターでは、東京における地球温暖化防止活動の拠点として、東京都や区市町村等と連携して普及啓発に取り組むとともに、都民や中小事業者へ地球温暖化防止の取組や省エネ対策(事業所の省エネ診断の実施等)を支援している。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	東京都地球温暖化防止活動推進センター
	電 話 番 号	03-5990-5066
	連絡先 ファクシミリ番号	
	電子メールアドレス	cnt-jukyu@tokyokankyo.jp
公 表 の 担当部署	名称	東京都地球温暖化防止活動推進センター
	電 話 番 号	03-5990-5066
	連絡先 ファクシミリ番号	
	電子メールアドレス	cnt-jukyu@tokyokankyo.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 04 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 東京都地球温暖化防止活動推進センター				
		所在地: 東京都新宿区西新宿2-4-1新宿NSビル10階				
		閲覧可能時間 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.07	0.05

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.039	0.032	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.039	0.303	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

可能な限り再生可能エネルギー由来のFIT電気を利用するよう取り組んだ。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	1,616	92.68%	1,544	92.45%
(FIT電気)	1,616	92.68%	1,544	92.45%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・2019年10月より、再生可能エネルギー由来のFIT電気の更なる拡充として、新たに他社小売電気事業者から廃棄物を用いたバイオマス発電によるFIT電気を調達し供給している。

・2019年10月より、FIT電気の調達において、間接オークション個別IDの取得により、FIT電気の特定が可能となり、再エネ率が増加した。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

該当なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

自社施設である東京都環境科学研究所及び水素情報館「東京スイソミル」では、ポスターを掲示し、施設見学者等に対して再生可能エネルギーに関する普及啓発を図っている。

また、ホームページや請求書の送付の際などに、供給している電気の電源構成・CO2排出係数を表示するなど、地球温暖化対策のための情報提供を行っている。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

公社は、これまでスマートエネルギー都市の実現や快適な都市環境の創出に向けて、省エネルギー対策、廃棄物の適正処理と資源循環の促進、自然環境の保全のほか、環境の改善・向上に資する調査研究など幅広く事業を展開している。また、環境事業に取り組む公益団体として、都民・事業者が行うSDGsにつながる環境への取組の支援・促進や、多様な主体との連携・協働において中核的な役割を果たすなど、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献している。

また、東京都地球温暖化防止活動推進センターでは、東京における地球温暖化防止活動の拠点として、東京都や区市町村等と連携して普及啓発に取り組むとともに、都民や中小事業者へ地球温暖化防止の取組や省エネ対策(事業所の省エネ診断の実施等)を支援している。

平成16年10月には環境マネジメントシステム国際規格ISO14001の認証を取得し、事業活動を通して、快適な都市環境の形成と生活環境の向上に寄与してきた。認証取得から10年が経過し、各サイトにおける取組みが十分に定着するとともに、着実に成果が現れてきていることから、これまでの取組・経験を踏まえ、平成27年4月より日常業務活動に特化した独自の環境マネジメントシステムを導入し、環境方針に基づき、環境の維持やさらなる向上に積極的に貢献していくため、環境マネジメント活動を推進している。東京都地球温暖化防止活動推進センターでは、センター内の運用基準を明確にした、エネルギー管理標準の策定など、全員参加で省エネに取り組んでいる。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

該当なし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東彩ガス株式会社 代表取締役 土屋 友紀
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	埼玉県越谷市越ヶ谷一丁目14番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 2019年2月以降、弊社のガスをご利用いただいている家庭用のお客さまを中心に、電力小売事業を展開しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		業務部 計画課
	連絡先	電 話 番 号	048-962-1138
		ファクシミリ番号	048-962-1386
		電子メールアドレス	business_plan_tosai@ml.nichigas.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		業務部 計画課
	連絡先	電 話 番 号	048-962-1138
		ファクシミリ番号	048-962-1386
		電子メールアドレス	business_plan_tosai@ml.nichigas.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 03 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へのお問合せに対して回答				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.60	0.60

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.514	0.460	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.458	0.391	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

2022年1月から非FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー100%の電気の販売を開始しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は具体的な取組は行っておりませんが、今後、再生可能エネルギーからの電源調達を検討して参ります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は具体的な取組は行っておりませんが、今後、検討して参ります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

2022年1月から非FIT非化石証書による再生可能エネルギー100%の電気の販売を開始しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・以前から営業で使用する自動車の大半にはLPG自動車を使用しており、CO2排出量の低減に貢献しております。また、徐々にEV自動車の導入もすすめております。
・5月から10月の夏季期間はクールビズを実施しを毎年継続、空調利用のエネルギーの削減を行っています。
・社内の会議や資料作成はペーパーレスでディスプレイ表示を基本とし、紙資源の節約による森林保護とCO2削減を継続しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2022年1月から非FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー100%の料金メニューを作成し提供。提供開始から順調に供給件数を伸ばしています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東北電力株式会社 取締役社長 社長執行役員 樋口 康二郎
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	宮城県仙台市青葉区本町一丁目7番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	資本金 : 2,514億円 供給区域 : 青森県, 岩手県, 秋田県, 宮城県, 山形県, 福島県, 新潟県 他 水力・・・203ヵ所 245万kW 火力・・・9ヵ所 1,117万kW 地熱・・・4ヵ所 14万kW 太陽光・・・4ヵ所 0.48万kW 原子力・・・2ヵ所 275万kW 合計・・・222ヵ所 1,651万kW 販売電力量(小売) : 65,940百万kWh ※データは2023年3月末時点

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		グループ戦略部門 カarbonニュートラル推進ユニット
	連絡先	電 話 番 号	
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	thk.ecokankyo@tohoku-epco.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		販売カンパニー 法人営業部 営業統括グループ
	連絡先	電 話 番 号	022-799-6205
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 04 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署へ問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	109.38	110.02

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.488	0.510	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.474	0.493	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・当社の温対法に基づく調整後CO₂排出係数は、2021年度0.483kg-CO₂/kWhから、2022年度0.460kg-CO₂/kWh(速報値)となり、前年度比4.7%減となりました。
・継続的な非化石証書の購入を通じて、調整後CO₂排出係数の削減に努めてまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	49,967	22.28%	42,444	19.68%
(FIT電気)	18,640	8.31%	19,337	8.96%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・グループ各社ならびに他社からの再生可能エネルギーの調達に極力努めています。
・調達した再生可能エネルギーを活用し、環境価値付きメニュー販売を行っています。
(高圧・特高:よりそう、再エネ電気, 低圧:ecoでんきプレミアム)

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は都内に火力発電所を所有していません。都内以外に所有する火力発電所への措置は以下のとおりです。

- ・上越火力発電所1号機については、2022年12月1日に営業運転を開始しました。
- ・この他、2017年より東芝エネルギーシステムズ(株)と共同で検証を進めてきた、設備の異常兆候の早期検知や熱効率の向上に寄与する2つのシステムについて、当社の全火力発電所で運用しており、日常のきめ細やかな運転管理や高効率プラントの安定運転を行うことにより熱効率の維持・向上に努めています。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・各事業所における空調、照明、OA機器の節電対策等を通じて、全社大で節電・省エネの徹底に取り組みました。
- ・各事業所において、植樹活動等の環境活動を通じて、地域の皆さまとともに地球温暖化対策に取り組みました。
- ・NEDO、東芝エネルギーシステムズ(株)、岩谷産業(株)、旭化成(株)とともに、当社および東北電力ネットワークは、福島県浪江町で再生可能エネルギーを利用した世界最大規模の水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド」の実証運用を2020年2月から開始しています。
- ・将来の気候変動リスクおよび機会が与える財務上の影響を把握するため、当社はシナリオ分析を継続して行っています。
- ・2019年度に初めてグリーンボンドを発行し、グリーンファイナンスを積極的に推進しています(2022年度 計1回)。
- ・2021年度からはグリーンプロジェクトごとの開発規模や期間などに応じた調達手法の多様化を図る観点から、「グリーンローン」による資金調達を実施しました(2022年度 計3回)。
- ・FIT買取期間満了後の家庭用太陽光発電による電気を当社が買い取るサービスなどを提供する「ツナガルでんき」を展開し、地域全体で再生可能エネルギーを最大限活用する社会の実現に取り組みしました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特になし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社 東名 代表取締役社長 山本 文彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	三重県四日市市八田二丁目1番39号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	小売電気事業として、個人事業主や中小企業を中心として企業向けに低圧から高圧の電力供給を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		カスタマーオペレーション部
	連絡先	電 話 番 号	052-307-0104
		ファクシミリ番号	052-587-2077
		電子メールアドレス	denkikouri_info@toumei.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		カスタマーオペレーション部
	連絡先	電 話 番 号	052-307-0104
		ファクシミリ番号	052-587-2077
		電子メールアドレス	denkikouri_info@toumei.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 17 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社東名				
		所在地: 三重県四日市市八田二丁目1番39号				
		閲覧可能時間 9:00-18:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	5.65	7.87

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.473	0.430	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.511	0.481	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

非化石証書を活用するプランの導入・卒FIT電源買取の開始 ⇒ 実質再生可能エネルギー100%を目指す体制づくり

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	491	2.69%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再エネプラン率(保有数に対し)の上昇を目指し取り組んだ

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現段階では実施・実績なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現段階では実施・実績なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

非化石証書を活用するプランの導入・卒FIT電源買取を開始

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

クールビズ・ウォームビズにより、冷暖房の設定温度の節制を実施している。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

現段階では実施・実績なし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社TOKYO油電力 代表取締役 染谷 ゆみ
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都墨田区八広3丁目39番5号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は20余年の油燃料の研究開発の結果、使い終わった生のままの油を発電する発電機の開発に成功しました。当初は発電を行い、FIT電気等で電気を販売。その後、レストランなどの排出事業者や一般市民の皆様が発電された電気を戻す「循環型社会」のモデル事業を目指すという思いのもと、電力自由化を機に売電会社を興しました。 グループ企業やこれまでのBDF繋がり企業へそのSVO発電機の販売も手掛けております。また関連企業への電気の融通、太陽光発電の仲介などで、再生可能エネルギーを主とした電気小売り事業者を目指しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力事業部
	電 話 番 号	03-5737-2816
	連絡先 ファクシミリ番号	03-5737-6636
	電子メールアドレス	Info-pps@watami.net
公 表 の 担当部署	名称	電力事業部
	電 話 番 号	03-5247-1396
	連絡先 ファクシミリ番号	03-3613-1625
	電子メールアドレス	denki@tokyoyuden.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にお問い合わせください。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.45	0.04

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.475	0.444	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.521	0.502	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特に無し

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特に無し

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの取組、開発の実績は御座いません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

弊社はなるべく環境にいいエネルギーを選んでもらえるよう広報につとめる中で、一人ひとりの生活者が生活の中で出来るCO2削減(油を捨てないなど)も促しております。また地域の廃油を回収する取り組みも行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

東京地域で使われた家庭や事業者の天ぷら油を回収し、二酸化炭素を増やさないバイオディーゼル燃料などへの再資源化を通して、私達の生活環境の改善に貢献していくためのリサイクルプロジェクトを行っています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

特に御座いません

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社トーヨーエネルギーファーム 代表取締役 岡田吉充
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル11階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 自社・およびグループ会社のオフィスビル等に対し、電力小売事業を行っている。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		スマートエネルギー本部 国内事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5622-5707
		ファクシミリ番号	03-3212-6210
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		スマートエネルギー本部 国内事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5622-5707
		ファクシミリ番号	03-3212-6210
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせがあった際に公表する。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.06	0.03

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.469	0.443	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.504	0.468	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

具体的な対策は行っておりません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等の利用をしておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

使用電力のweb閲覧により、使用電力削減のための電力の見える化の推進

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社内およびグループ会社事業所でのクールビズによる電気使用量の節電

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の 氏名)	株式会社ところざわ未来電力 代表取締役 中村 俊明
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在 地)	埼玉県所沢市宮本町2-21-4

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	電気の供給に関する事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社ところざわ未来電力
	連絡先	電 話 番 号	04-2940-5030
		ファクシミリ番号	04-2940-5031
		電子メールアドレス	info@tokorozawa-mirai.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社ところざわ未来電力
	連絡先	電 話 番 号	04-2940-5030
		ファクシミリ番号	04-2940-5031
		電子メールアドレス	info@tokorozawa-mirai.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.00	0.01

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.077	0.156	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.299	0.136	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再エネ電源の調達

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	40	68.65%	13	18.61%
(FIT電気)	33	57.19%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再エネ電力の地産地消

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
6	9.60%	7	9.80%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

特になし。火力発電所の所有はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

営業活動等に係る移動手段は車ではなく、徒歩、もしくは公共交通機関を積極的に利用しています。
夏季はクールビズの実施をしております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

高圧では、年間の電力使用量(kWh)に対してFIT電源等を割り当て、再生可能エネルギー指定の非化石証書等を使用することで、調整後CO₂排出係数を0とし、再生可能エネルギー100%の電気の調達を実現する「ゼロエミプラン」、年間の電力使用量(kWh)に対して再生可能エネルギー指定の非化石証書等を使用し、調整後CO₂排出係数を0とし、実質的に再生可能エネルギー100%の電気の調達を実現する「ゼロエミプランライト」(電源指定無し)、FIT電気または廃棄物発電等の電源で発電された電気を供給し、これらの電気に非化石証書等を組み合わせることで調整後排出係数を0.300kg-CO₂/kWh以下とする「低CO₂プラン(当社標準プラン)」をもうけている。

低圧では、再生可能エネルギー電源(FIT含む)100%で調整後CO₂排出係数ゼロとなる電力メニュー「トコロんでんき再エネプラン」を設け、より環境に配慮した電源を選択できるようにしている。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	凸版印刷株式会社 代表取締役社長 磨 秀晴
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都台東区台東1-5-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	■当社のエネルギーソリューション 電力その他のエネルギーに関する、供給、販売、サービス等 ■当社の事業内容 「印刷テクノロジー」をベースに「情報コミュニケーション事業分野」、「生活・産業事業分野」および「エレクトロニクス事業分野」の3分野にわたり幅広い事業活動を展開しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		製造統括本部 エコロジーセンター エネルギーソリューション部
	連絡先	電 話 番 号	03-3835-5126
		ファクシミリ番号	03-3835-6326
		電子メールアドレス	enebk-ryokin@toppan.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		広報本部
	連絡先	電 話 番 号	03-3835-5636
		ファクシミリ番号	03-3837-7675
		電子メールアドレス	kouhou@toppan.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 02 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 凸版印刷 営業ビル1号館 1階受付				
		所在地: 東京都台東区台東1丁目5番1号				
		閲覧可能時間 平日 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	11.39	12.94

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.436	0.461	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.393	0.442	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- ・当社では温暖化対策として、電力の調達において排出係数を考慮した調達を行いました。引き続き優先的に実施します。
- ・非FIT太陽光の調達を進めます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	9	0.04%	11	0.04%
(FIT電気)	9	0.04%	10	0.04%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・当社では温暖化対策として、電力の調達において排出係数を考慮した調達を行いました。引き続き優先的に実施します。
- ・非FIT太陽光の調達を進めます。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギー等について、現段階では検討しておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・当社では火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・デマンドレスポンスのメニューの検討を進めています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・再エネ利用促進の一環として、自社関連会社工場の太陽光発電設備から発電した電力を工場内で自家消費しております。
・電力の調達においては、CO2排出量などを十分に考慮して進めます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.424	0.00%	0.00%	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	0.431	0.27%	0.01%

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社トヨタエナジーソリューションズ 代表取締役社長 梅村 晋
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	愛知県豊田市元町1番地

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	◆小売電気事業 2013年度(7月)より、特定規模電気事業者として東京エリアにて特定規模電気事業を開始。グループの自動車販売店や業務用ビルに対し供給を行っています。2016年4月より、小売電気事業者として登録し、事業を継続しております。 ◆その他 燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントなど、ものづくりを活かしたエネルギーソリューションの提供によって、脱炭素社会と豊かな社会の実現を目指しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギー管理室
	連絡先	電 話 番 号 052-218-7843
		ファクシミリ番号 052-218-7848
		電子メールアドレス info@mail.ene.toyota-energy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称	エネルギー管理室
	連絡先	電 話 番 号 052-218-7843
		ファクシミリ番号 052-218-7848
		電子メールアドレス info@mail.ene.toyota-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 04 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: (株)トヨタエナジーソリューションズ				
		所在地: 愛知県名古屋市中区栄二丁目1-1				
		閲覧可能時間 09:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	17.30	14.96

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.460	0.442	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.452	0.399	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・CO2排出係数の低い発電所から調達を行い、排出係数の低減に努めています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況
再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・自社保有の再生可能エネルギー発電はありませんが、他社保有の環境負荷の低い発電所からの調達を行っています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・現在計画はなし。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・自社で保有する火力発電所はなし。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・弊社のお客様に対し、Web上で電力使用状況を公開し、それを把握いただくことで、地球温暖化対策にかかわる対策をサポートしています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・お客様の環境・エネルギー分野において、CO2削減などの課題を解決するための総合的な提案を実施しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2022年10月よりメニュー販売開始(2022年度は都内に対象需要家なし)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	トリニティエナジー株式会社 代表取締役 町田 錠二
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力小売業 弊社は、一般家庭、小規模商店などの需要家への小売りを目的とした電力小売事業を実施しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		トリニティエナジー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6821-0031
		ファクシミリ番号	03-6821-0032
		電子メールアドレス	info@trinity-energy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		トリニティエナジー株式会社
	連絡先	電 話 番 号	03-6821-0031
		ファクシミリ番号	03-6821-0032
		電子メールアドレス	info@trinity-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせに対して個別に対応				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.06	0.10

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.461	0.440	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.436	0.417	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数の削減目標について検討しました

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度再生可能エネルギー実績のない事業者であるため

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度実績のない事業者のため

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を持たない事業者

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

地球温暖化の対策の働きかけを検討しました

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

地球温暖化対策に係る取り組みを検討しました

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

メニュー別のない事業者

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	TRENDE株式会社 代表取締役 妹尾 賢俊
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区東神田1-16-7

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	主に一般家庭への電力小売事業を行っております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		企画部
	連絡先	電 話 番 号	-
		ファクシミリ番号	-
		電子メールアドレス	bg@trende.jp
公 表 の 担当部署	名称		企画部
	連絡先	電 話 番 号	-
		ファクシミリ番号	-
		電子メールアドレス	bg@trende.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	問い合わせに随時対応致します				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	11.20	1.80

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.468	0.435	47.33%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.431	0.413	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数を算定出来ず、代替値としている調達先からの調達により、把握率100%未満となります。
CO2排出係数のより小さい電源の採用に努めました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

屋根置き太陽光パネルの普及により、利用促進を行っております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

具体的な取組を実施することができませんでしたが、今後検討致します。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で保有する火力発電所はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

インターネット上で日々の使用状況の確認していただくことにより、節電の取組みに役立てていただいております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

本社事務所でのクールビスや昼休みの消灯、および定時退社の推奨などの取組みを通じ、節電に取り組んでおります。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

排出係数に差異のあるメニューは無いことから、メニュー別報告は行っておりません。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社とんでんホールディングス	代表取締役 長尾治人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	埼玉県さいたま市南区白幡1-14-15	

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無		
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)		
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	レストラン事業、電力小売事業		

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		総務課
	連絡先	電 話 番 号	048-838-7878
		ファクシミリ番号	048-838-8866
		電子メールアドレス	e_power@tonden.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		総務課
	連絡先	電 話 番 号	048-838-7878
		ファクシミリ番号	048-838-8866
		電子メールアドレス	e_power@tonden.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 株式会社とんでんホールディングス				
		所在地: 埼玉県さいたま市南区白幡1-14-15				
		閲覧可能時間 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.76	0.89

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.383	0.391	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.410	0.411	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

太陽光発電電力を購入

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	380	19.11%	398	17.55%
(FIT電気)	380	19.11%	398	17.55%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・2022年度は太陽光発電電力のみ。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギーを利用した電気供給の取組等については現在検討していません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所は有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・各店舗毎に節電を指導。各電気機器の使用状況を指導、数値として見えるほどの効果はまだありません。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・各店舗毎に節電を指導しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社中之条パワー 代表取締役 山本政雄
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町1828

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・小売電気事業 弊社は、所在地である群馬県中之条町の地場産再生可能エネルギー電気を、主に地域の公共施設や事業所一般家庭を中心に電力小売事業を行っています。弊社が契約している主要な電源は、群馬県中之条町が自治体の事業として行っている太陽光や小水力の発電所です。また、卒FITの買取も実施しています。また、非FITの直接買取も行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社中之条パワー
	連絡先	電 話 番 号	0279-25-8072
		ファクシミリ番号	0279-25-8092
		電子メールアドレス	info@nakanojo-power.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社中之条パワー
	連絡先	電 話 番 号	0279-25-8072
		ファクシミリ番号	0279-25-8092
		電子メールアドレス	info@nakanojo-power.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 08 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 本社				
		所在地: 群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町1828				
		閲覧可能時間 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.02	0.03

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.314	0.275	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.447	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.466	0.435	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

■電力調達に係る取組方針

・地場産再生可能エネルギーを中心に調達しています。再生可能エネルギーの比率を高めるために、卒FITの電力買取を進めていると共に、非FITの直接購入および廃棄物発電からの調達も積極的に考えています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	20	34.13%	37	36.92%
(FIT電気)	20	33.99%	35	34.82%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

卒FIT太陽光発電の買取を2019年度から開始するとともに、2020年度から弊社と自治体とのタイアップでその電気を自治体に寄付していただき、地域通貨を発行する事業を引き続き行っています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

取組実績はありません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電は所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

2021年11月から中之条町へのふるさと納税の返礼として「お礼の電力」が復活し、地場産電気として非化石メニューである「なかのじょうの電気」を引き続き供給しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーによる電力の地産地消と地域活性化への貢献等をテーマとしたセミナー等の開催

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	0.00%	0.00%	0.000	0.00%	0.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.488	36.86%	0.00%	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

ふるさと納税返礼の電気を地産電気であることと、CO₂排出係数0の電気として供給するため、2021年度より「なかのじょうの電気」を供給開始しました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	日産トレーディング株式会社 代表取締役 石井 毅
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	神奈川県横浜市戸塚区川上町91-1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	関連事業者向け電力小売 日産自動車株式会社及び日産トレーディング株式会社従業員向け低圧(電灯)電力小売

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		グローバルマテリアル事業本部 化学品エネルギーグループ 燃料チーム
	連絡先	電 話 番 号	050-3360-2043
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	denryoku@nitco.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		グローバルマテリアル事業本部 化学品エネルギーグループ 燃料チーム
	連絡先	電 話 番 号	050-3360-2043
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	denryoku@nitco.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 15 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	弊社担当部署より公表				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	8.83	5.86

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.468	0.436	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.494	0.374	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

特にございません

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特にございません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

特にございません

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特にございません

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特にございません

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	0.447	0.00%	0.00%
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー100%プランを設定

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	日鉄エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 石倭 行人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都品川区大崎1丁目5番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	当社グループが建設・操業する廃棄物発電(バイオマス発電)や需要家工場内の自家用発電設備等および(親会社である)日本製鉄グループの運営する発電設備からの余剰電力等を用いて、全国(北陸・四国・沖縄等離島を除く)で電力小売事業を展開しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		環境・エネルギーセクター 営業本部 電力ソリューション部 企画・需給管理室
	連絡先	電 話 番 号	03-6665-3560
		ファクシミリ番号	03-6665-4826
		電子メールアドレス	power-business@eng.nipponsteel.com
公 表 の 担当部署	名称		環境・エネルギーセクター 営業本部 電力ソリューション部 企画・需給管理室
	連絡先	電 話 番 号	03-6665-3560
		ファクシミリ番号	03-6665-4826
		電子メールアドレス	power-business@eng.nipponsteel.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	お問い合わせがあった場合に提出します				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	81.21	53.21

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.567	0.572	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.647	0.667	
調整後CO ₂ 排出係数	0.625	0.675	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

当社グループにて建設・操業を行う廃棄物発電からの余剰電力の活用をはじめ、水力・風力・バイオマス・太陽光等未利用エネルギー／再生可能エネルギー発電からの電力調達に取り組んでいます。また、非化石証書等の調達に取り組んでいます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	803	0.56%	4,080	4.38%
(FIT電気)	803	0.56%	4,080	4.38%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・当社グループにて建設・操業を行う廃棄物発電(バイオマス発電)等からの余剰電力の活用をはじめ、水力・風力・バイオマス・太陽光等未利用エネルギー・再生可能エネルギー発電からの電力調達に取り組んでいます。また、非化石証書やJクレジット等を用いた調達にも取り組んでいます。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
3,440	2.40%	3,875	4.16%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社グループが運営を委託されているごみ処理施設からの余剰電力を小売電気事業用に活用しております。
また日本製鉄グループで使用する電気の一部は「工場の廃熱又は排圧」を利用した発電(CDQ:コークス乾式消火、
TRT:高炉炉頂圧回収タービン)により賄う等、未利用エネルギーの活用に取り組んでおります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

他社等発電設備については、CO2排出量の把握への協力を通じ、発電所の稼働状況の把握に努めております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・太陽光等の再生可能エネルギーや、廃棄物発電を活用した、RE100メニューや低炭素型電力メニューを設定しております。
・お問い合わせに応じ、需要家の使用電力量の状況等の情報提示を行うほか、お客さま専用Webサイト等を通じた現在の消費電力量の情報提供を行うなど、電力使用状況の把握を助勢することで、地球温暖化対策にかかわる取り組みをサポートしています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・「電気事業における低炭素社会実行計画」に謳われている電力業界全体として「2030年度に排出係数0.37kg-CO2/kWh程度(使用端)を目指す。」との目標の達成に向け、継続的に温暖化対策へ取り組んでいく予定です。
・当社グループが建設・操業する廃棄物発電(バイオマス発電)からの余剰電力や太陽光等の再生可能エネルギーを調達し供給することで、低炭素電気の普及の促進に努めます。
・その他の温暖化対策に係る取組方針
日本製鉄グループは、「環境基本方針」を策定し、環境対策を企業経営の根幹に位置づけ、省エネルギーやリサイクルなど足元の課題に加え、地球温暖化対策に資する技術開発など長期的な課題にも取り組んでいます。「環境基本方針」・「環境保全型社会の構築」への貢献・事業活動の全段階における環境負荷低減・国際的視野に立った地球規模の環境保全への取組また、グループとして将来のエネルギー技術として注目される、水素、クリーンコール、CO2分離・貯留などの技術開発にも積極的に取り組んでいきます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	100.00%	91.25%	0.000	100.00%	100.00%
メニューB	0.000	0.00%	0.00%	0.000	0.00%	0.00%
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	0.619	0.00%	0.00%
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

非化石証書を購入・取得し、調達した再エネに対して環境証書を付与しました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	日本エネルギー総合システム株式会社 代表取締役 黒淵誠二
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	香川県高松市林町1964番地1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	再生可能エネルギー事業 建築請負事業 不動産事業 新電力事業 太陽光発電所の運用

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	087-813-5907
		ファクシミリ番号	087-813-5977
		電子メールアドレス	denryoku@jpn-energy.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	087-813-5907
		ファクシミリ番号	087-813-5977
		電子メールアドレス	denryoku@jpn-energy.jp

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 10 月 13 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: 高松支店				
		所在地: 香川県高松市林町1957-1				
		閲覧可能時間 10時～17時				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	4.49	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.484	0.304	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	—	
調整後CO ₂ 排出係数	0.418	0.258	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- ・トラッキング付き非化石証書の購入により、調整後CO2排出係数の削減。
- ・2019年度からの卒FIT電気の買い取りと、非FIT非化石証書の取得。
- ・自社の非FIT太陽光発電所を四国電力管内に建設し、再生可能エネルギー(太陽光発電)を調達。
- ・再生可能エネルギー(太陽光発電)からの調達

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

四国エリアに非FIT発電所を所有しており、その他エリアにも非FIT発電所の建設を予定しております。また、営業を中心に、自家発電、自家消費、自己託送、余剰電力に関しては蓄電池の設置等再エネ電力の導入を積極的に推進し、民間施設等へ脱炭素化に有効な自家発電所や蓄電池の整備の導入をご提案させて頂いております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーは所有しておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

二酸化炭素排出削減を希望される需要家様に対し、非化石証書を利用した具体的な削減方法をご提案させていただき、また、今後は自家発電所の建設による、自家消費についてもご提案させていただいております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

全国各地にFIT発電所の所有と、また非FIT発電所を四国、東京エリアに所有しており、東京エリアでも稼働開始しております。
四国エリアの非FIT発電所の稼働数を増やし、その他のエリアにも非FIT発電所の建設計画を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

- ・非化石証書の導入による調整後排出量の削減をしております。
- ・2020年より非FIT発電所からの電力供給と非化石証書のミックスでの調整後排出量のゼロ化を推進しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	日本瓦斯株式会社 代表取締役社長執行役員 柏谷邦彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都渋谷区代々木4丁目31番8号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 2018年11月以降、弊社のガスをご利用されている家庭用のお客さまを中心に、電力小売事業を展開しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5308-2121
		ファクシミリ番号	03-5350-6215
		電子メールアドレス	soenekikaku@nichigas.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5308-2121
		ファクシミリ番号	03-5350-6215
		電子メールアドレス	soenekikaku@nichigas.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2022 年 08 月 05 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署の問い合わせに対して回答				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	56.18	69.95

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.460	0.515	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.398	0.436	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

2022年1月から非FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー100%の電気の販売を開始しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は具体的な取組は行っておりませんが、今後、再生可能エネルギーからの電源調達を検討して参ります。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度は具体的な取組は行っておりませんが、今後、検討して参ります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

2022年1月から非FIT非化石証書による再生可能エネルギー100%の電気の販売を開始しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・以前から営業で使用する自動車の大半にはLPGガス自動車を使用しており、CO2排出量の低減に貢献しております。現在、徐々にEV自動車、EVバイクの導入もすすめており、同時に営業所に太陽光パネル、蓄電池、EV充電器を設置することで再生可能エネルギーの最適利用とCO2削減をすすめております。
・5月から9月の夏季期間はクールビズを実施しを毎年継続、空調利用のエネルギーの削減を行っています。
・社内の会議や資料作成はペーパーレスでディスプレイ表示を基本とし、紙資源の節約による森林保護とCO2削減を継続しています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	0.00%	0.00%	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.431	0.00%	0.00%	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

2022年1月から非FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー100%の料金メニューを作成し提供。提供開始から順調に供給件数を伸ばしています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	日本テクノ株式会社 代表取締役社長 馬本 英一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル53階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電気エネルギーに関する総合サービス業 1. キュービクル常時監視システム販売および省エネコンサルティング 2. 高圧電気設備保安管理・点検業務 3. 電気料金自動検針業務(テナントビルの自動検針システム) 4. 電力小売事業 5. 発電事業 ①千葉県袖ヶ浦市にガス火力発電所(10.9万kW)を所有しております。 ②新潟県上越市にガス火力発電所(10.9万kW)を所有しております。 ②子会社にて茨城県那珂市にガス火力発電所(10.9万kW)を所有しております。 ④子会社にて茨城県東茨城郡に太陽光発電所(0.2万kW)を所有しております。 ⑤子会社にて関西エリアに火力発電所(1.05万kW)を有しております。 主に関西エリアへの 需要調整用として供給しております。 6. 一般電気工事 7. 企業・住宅向け太陽光発電設備の販売

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業本部 エネルギーソリューション部
	連絡先	電 話 番 号	03-5909-8458
		ファクシミリ番号	03-5909-3043
		電子メールアドレス	ntech-pps@n-techno.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業本部 エネルギーソリューション部
	連絡先	電 話 番 号	03-5909-8458
		ファクシミリ番号	03-5909-3043
		電子メールアドレス	ntech-pps@n-techno.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 10 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: http://www.n-techno.co.jp				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	93.26	102.22

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.474	0.461	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.439	0.451	
調整後CO ₂ 排出係数	0.491	0.492	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- ・平成23年度から木質バイオマス発電所からの電力を調達する事により、CO₂排出低減に取り組んでおります。
- ・高効率ガスエンジンだけで構成される自社発電所からの電力を小売用として利用しております。
- ・今後も、排出係数の低い電源からの電力調達も積極的に行ってまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	396	0.20%	349	0.16%
(FIT電気)	396	0.20%	349	0.16%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・平成25年度より自社の太陽光発電所からの再生可能エネルギーの供給を行っております。
- ・平成23年度より木質バイオマス発電所からの電力の調達を行い、都内の需要家様へ供給を行っております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・前年度は未利用エネルギーの供給実績はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・自社発電所である袖ヶ浦グリーンパワー、上越グリーンパワーと、子会社である那珂グリーンパワー発電所からの電力を都内の需要家様に供給しております。
・これら発電所は、14基のガスエンジンの組み合わせにより、需要状況に合わせながら常に高い発電効率を維持し、柔軟に出力調整を行える発電所であります。また、大気による出力への影響が極めて小さく、電力需要の大きい夏季においても出力低下、効率低下が少ない為、高い発電性能を維持出来るのが特徴となっております。
・需要状況に合わせながら常に高い発電効率を維持する為、14基の組み合わせによる運転台数の制御や調整運転を行い、高効率な発電を行えるよう取り組んでおります。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・高圧電気の需要家様に当社のスマートメーターを導入し、電力の「見える化」と「理解る化」で上手な省エネ活動をサポートする「電力コンサルティング」、省エネを実現させるための「省エネ設備改善」などを提案しております。具体的には、需要家様のPCでも電力使用状況を閲覧出来るサービスを提供し、効率的な電気の使用をお客様自身で運用・確認を行えるシステムを提供しております。
・また高圧需要家様に対して、電力使用状況の実績などの情報提供を電話や定期的な訪問を行い、需要家様に合わせた電気使用の効率化やCO2削減に向けたコンサルティングを行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・全事業所及び全組織の環境意識を向上させ、また環境対策を行う為、環境・品質・CSRマネジメントシステムを策定し実践しております。社内に環境管理課を設置し、全社の環境マネジメントシステムの実行業務の支援や、環境目標の設定・計画策定と評価を行っております。
・子会社にて需要家様の設備改善を中心としたサービスを提供し、省エネ機器の導入・受変電設備の改修・再生可能エネルギー設備の導入など、効率的な事業運営の推進に向けてサポートを行っております。
・社有車を使用する社員が道路上の法令を遵守し、環境に優しい運転を心がけるため、車の運行状況やルート、運転時間を完全に見える化し、管理を徹底しています。それに伴い、速度オーバーや急ブレーキが減り、安全性の向上だけでなく、燃費も改善され、コストやCO2の削減につながっています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	日本ファシリティ・ソリューション株式会社 代表取締役 成願 靖朗
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都品川区大崎一丁目6番4号 新大崎勸業ビルディング17階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	小売電気事業 ・エネルギーサービスプロバイダーとして、民生・産業部門を問わず、省エネルギーをはじめあらゆるエネルギーソリューションをワンストップでご提供します。 ・小売電気事業者登録番号:A0373 詳細は当社ホームページをご覧ください。 http://www.j-facility.com/

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	日本ファシリティ・ソリューション株式会社 企画室
	連絡先	電 話 番 号 03-6371-2836
		ファクシミリ番号 03-6371-2501
		電子メールアドレス denki-occto@ml.j-facility.com
公 表 の 担当部署	名称	日本ファシリティ・ソリューション株式会社 企画室
	連絡先	電 話 番 号 03-6371-2836
		ファクシミリ番号 03-6371-2501
		電子メールアドレス denki-occto@ml.j-facility.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署への問い合わせに対し回答いたします。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.03	19.62

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.460	0.538	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.276	0.172	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

FIT非化石証書購入による排出原単位の減少
R2年度実績値 調整後排出係数 0.000478(t-CO₂/kWh)
R3年度実績値 調整後排出係数 0.000292(t-CO₂/kWh)
R4年度実績値 調整後排出係数 0.000187(t-CO₂/kWh)

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

該当なし

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

該当なし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・現在、当社は火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客さまのニーズに応えるべく、低炭素電気をお届けする「FIT非化石証書活用電力メニュー」により、お客さまが志向する最適なプランを創出しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・ESCO事業を展開し、省エネルギー・省コストを実現するサービスを提供しております。
・エネルギーマネジメントの@エナジーシリーズの展開により、エネルギー使用状況の詳細を把握、最大電力の管理と低減、最大電力(デマンド)を制御等により省エネルギーの啓発を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	0.000	0.00%	0.00%
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

該当なし

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社ネクシィーズ・ゼロ 代表取締役 松井 康弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都渋谷区桜丘町20番4号 ネクシィーズスクエアビル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☐ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 弊社は、飲食店等の需要家への小売を目的とした電力小売事業を実施しておりましたが 2023年1月より需要家がゼロとなり電力小売り事業を休止しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		株式会社ネクシィーズ・ゼロ
	連絡先	電 話 番 号	03-6892-2161
		ファクシミリ番号	03-6892-2162
		電子メールアドレス	nx_denryoku@nexyz.co.jp
公 表 の 担当部署	名称		株式会社ネクシィーズ・ゼロ
	連絡先	電 話 番 号	03-6892-2161
		ファクシミリ番号	03-6892-2162
		電子メールアドレス	nx_denryoku@nexyz.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 11 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	ご要望に応じて公表				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	3.54	1.62

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.470	0.430	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.497	0.452	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

卸市場からの調達のため、対策実績はありません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

卸市場からの調達のため、対策実績はありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未使用エネルギー等の利用はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

弊社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

LED等の省エネ設備の導入事業を行い、電気使用量削減をすすめています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

クールビズを実施し、電力使用量削減をすすめています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	Next Power株式会社 代表取締役社長 船津 啓介
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-2-1 住友不動産人形町ビル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	小売り電気事業 弊社は、卸電力供給者から電力を購入し、マンション共用部等の電力自由化対象の需要家への電力小売り事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		営業推進本部 第2営業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5640-1130
		ファクシミリ番号	03-5640-1131
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		営業推進本部 第2営業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5640-1130
		ファクシミリ番号	03-5640-1131
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にメール・FAXで問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	13.62	21.20

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.673	0.546	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.661	0.575	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

- ・バランシンググループとして、電源構成において、天然ガス/都市ガス利用の可能な限りの拡大を図りました
- ・バランシンググループとして、自治体の一般廃棄物発電や再生可能エネルギーからの電力調達に努力しました。
- ・弊社事務所内のエネルギー消費量を削減する努力を行いました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・再生可能エネルギーの利用実績はありませんでした。
- ・バランシンググループとして、非化石取引市場の活用も検討し、引き続き再エネ電源の拡大に注力しました。
- ・バランシンググループとして、再生可能エネルギーによる発電からの電力の調達に努めました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギーの利用実績はありませんでした。
・バランシンググループとして、自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達ができるように努力しました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所は保有しておりません。
・バランシンググループとして、契約先発電所の熱効率向上に向けて、より効率の良い運転・制御方法について協議・検討を推進しました。
・バランシンググループとして、指令値にて稼働する契約発電所においては、可能な範囲で高効率化運転となる(負荷率の高い)指令を指向し、排出係数の削減を目指しました。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・省エネ意識の向上、需要家に対して節電を申し入れました。
・お客様の省エネ意識の向上に貢献できるように、使用電力量等のデータ提供サービスを行い、ユーザーの意見等を聴取しながらサービスの充実を図りました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・社用車を持たない経営方針を継続しました。
・本社オフィス内で使用していない会議室等を消灯したり、冬場は空調の設定温度を低めにするなど省エネ、節電に努めました。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	ネクストパワーやまと株式会社 代表取締役社長 岩崎 健太
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	鹿児島県鹿児島市西別府町2995-10

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・発電、売電、電力の調達及び電力の供給に係わる事業。 ・エネルギーの供給運用に関する代行業務。 ・再生可能エネルギーシステムに関する業務受託及びコンサルティング業。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		需給管理課
	連絡先	電 話 番 号	099-299-0018
		ファクシミリ番号	099-299-0012
		電子メールアドレス	np-jyukyu@np-yamato.sakura.ne.jp
公 表 の 担当部署	名称		需給管理課
	連絡先	電 話 番 号	099-299-0018
		ファクシミリ番号	099-299-0012
		電子メールアドレス	np-jyukyu@np-yamato.sakura.ne.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 01 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☒ 窓口での閲覧	閲覧場所: ネクストパワーやまと 本社				
		所在地: 鹿児島県鹿児島市西別府町2995-10				
		閲覧可能時間 9:00～17:00				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1.54

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.449	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.508	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・従来から行なっている高圧太陽光発電設備からの電力調達。
・一般家庭などの太陽光余剰電力(低圧卒FIT)の買取件数の拡大。
・FIT制度を利用しない太陽光発電所からの電力調達を引き続き実施。
・非化石証書の調達量拡大。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

※本年度は下記の再生可能エネルギーを調達し、需安家の供給した。

・高圧太陽光発電設備からの電力調達(FIT) : 10,636 MWh
・太陽光余剰電力(低圧卒FIT)の調達 : 1,403 MWh
・非FITの太陽光発電所からの電力調達 : 63 MWh

・太陽光余剰電力(低圧卒FIT)については随時買取り申込みを受付けており、契約件数も日々増加している。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・ホームページのお客さまページにて電気使用量、グラフ、料金等の情報の見える化を行っています。
- ・必要に応じて省エネ機器、家電の紹介。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・自動車からの温室効果ガス削減のため、社有車(営業車等)には低燃費型の自動車(EV、ハイブリッド等)を積極的に導入している。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	株式会社NEXT ONE 代表取締役 斉藤 徹
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都渋谷区渋谷3-3-5 NBFイースト3階

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☐ 有 ☒ 無
都内供給区分	☐ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力小売事業 沖縄を除く全国エリアにて個人住宅を中心とした電力の小売事業を行っております。 工場・オフィスビル等高圧電力を利用している需要家への小売事業も実施しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5774-0372
		ファクシミリ番号	03-5774-5521
		電子メールアドレス	info@nj-e.jp
公 表 の 担当部署	名称		電力事業部
	連絡先	電 話 番 号	03-5774-0372
		ファクシミリ番号	03-5774-5521
		電子メールアドレス	info@nj-e.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 09 月 05 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	電話にて問い合わせ。株式会社NEXT ONE 電力管理事業部(TEL03-5774-3072)				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	3.94	5.33

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.478	0.445	100.00%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.515	0.501	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

受給管理会社より個別に相対契約にてを調達しているため不明です。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

受給管理会社より個別に相対契約にて調達しているため不明です。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

受給管理会社より個別に相対契約にて調達しているため不明です。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家自身が使用電力量を確認できるシステムの推進。
マイページやHPのお知らせ機能を使った節電の呼びかけ。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・夏季におけるクールビズ、冬季におけるウォームビズの取り組みをしています。
- ・使用していない箇所の空調および照明に関しては、こまめに消すようにしております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

対応メニューなし。